

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					○ 執務並行改修 ○ 全館無人改修
					○ 執務並行改修 ○ 全館無人改修
					○ 執務並行改修 ○ 全館無人改修

4. その他 _____

【2】 適用範囲
現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）をいう。（以下、これを「改修標準仕様」という。）本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準仕様」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分
設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様
1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標準仕様」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標準仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目	特 記 事 項
③ 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
1 ④ 風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地面粗度区分等 風速 (V ₀) ○ 3.2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地面粗度区分 ○ I ○ II ○ III ○ IV 多雪地域の指定 ○ なし ○ あり
⑤ 現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
⑥ 工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週（ ）曜日に提出する。
⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による)
⑧ 設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ○ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。
⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3)	
⑩ 工事写真 (1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 下記ものを監督職員に提出する。

章 項目	特 記 事 項																																								
1 ⑪ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	PCB含有シーリング材の分析調査 ○ 行う () 箇所 ○ 行わない PCB含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 ○ 蛍光灯ランプ ○ HIDランプ ○ 硬質塩化ビニル管・継手 再生資源利用〔促進〕計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。 マニフェスト制度 ○ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ○ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。 調査 ○ 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 ※ 図示による ○ _____ 調査事項 ※ 石綿使用部位の確認 ※ 石綿層の厚さの確認 ※ 施工範囲と工事管理区分の確認 ※ 更衣施設等の仮設計画 ※ 廃棄物等の搬出方法 ○ 行わない 石綿含有分析方法 ○ 行う(分析結果を監督職員に提出する) ※ JIS A 1481に基づくこと																																								
14 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ () 箇所</td> <td>○ () 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ () 箇所</td> <td>○ () 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ () 箇所</td> <td>○ () 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ () 箇所</td> <td>○ () 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル ○ 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○ あり ○ なし</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		○ () 箇所	○ () 箇所		○ () 箇所	○ () 箇所		○ () 箇所	○ () 箇所		○ () 箇所	○ () 箇所																									
材 料 名	定性分析	定量分析																																							
	○ () 箇所	○ () 箇所																																							
	○ () 箇所	○ () 箇所																																							
	○ () 箇所	○ () 箇所																																							
	○ () 箇所	○ () 箇所																																							
15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 ○ 図示による ○ _____																																								
16 技能士 (1.7.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>○ 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ○ 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALC[®] 施工</td> <td>○ コクリート[®] ロック工事作業 ○ ALC[®] 施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○ 7A7A[®]防水工事作業 ○ シーリング[®]防水工事作業 ○ アルカ[®]系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル[®]系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート[®]防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○ ビル用ガラス[®]施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア[®]施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド[®]仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>○ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 溶融[®]イントロッド[®]マーカー工事作業 ○ 加熱[®]イントロッド[®]マーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	○ とび作業	鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業	鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業	ブロック及びALC [®] 施工	○ コクリート [®] ロック工事作業 ○ ALC [®] 施工作業	カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業	防水工事	○ 7A7A [®] 防水工事作業 ○ シーリング [®] 防水工事作業 ○ アルカ [®] 系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル [®] 系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート [®] 防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業	金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築塗装作業	建具工事	○ ビル用ガラス [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア [®] 施工作業	内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド [®] 仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業	排水工事	○ 建築配管作業	舗装工事	○ 溶融 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業 ○ 加熱 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業	舗装工事	○ 造園工事作業
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
仮設工事	○ とび作業																																								
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業																																								
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業																																								
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業																																								
ブロック及びALC [®] 施工	○ コクリート [®] ロック工事作業 ○ ALC [®] 施工作業																																								
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業																																								
防水工事	○ 7A7A [®] 防水工事作業 ○ シーリング [®] 防水工事作業 ○ アルカ [®] 系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル [®] 系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート [®] 防水工事作業																																								
石工事	○ 石張り作業																																								
タイル工事	○ タイル張り作業																																								
木工事	○ 大工工事作業																																								
屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業																																								
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業																																								
左官工事	○ 左官作業																																								
塗装工事	○ 建築塗装作業																																								
建具工事	○ ビル用ガラス [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア [®] 施工作業																																								
内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド [®] 仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業																																								
排水工事	○ 建築配管作業																																								
舗装工事	○ 溶融 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業 ○ 加熱 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業																																								
舗装工事	○ 造園工事作業																																								

章 項目	特 記 事 項												
17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 ○ 適用する () ○ 適用しない												
18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)												
⑯ 完成図 (1.9.2)	作成する (提出部数 ○ 2部 ○ ___部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。												
⑳ 保全に関する資料 (1.9.3)	作成する (提出部数 ○ 2部 ○ ___部) ○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ○ 建物を使用する上での注意事項 ○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上りの概要説明 ○ 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ○ 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。												
1 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 ● 施行箇所面に柱組足場を設ける。 ○ 施行箇所面にくさび梁組足場を設ける。 ○ 施行箇所面に単管本足場を設ける。 ○ 仮設ゴンドラを使用する。 ○ 移動式足場を使用する。 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ○ _____ 防護シート等 ○ 防音パネル ○ 防音シート ○ 養生シート ● ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 (表2.2.1)												
2 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ※ 行う (※ ビニールシート、合板 ○ _____) ○ 行わない 既存家具・既存設備等の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及びび保管 ○ 行う ● 行わない 養生の方法 ○ 取り外しのうえ清掃 ○ _____ 保管場所 ○ 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ _____ 家具の移動 ○ 行う (図示) ● 行わない												
3 仮設間仕切り (2.3.2)	○ 設ける (図示) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ A種</td> <td>○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm</td> <td>○ なし ○ 片面</td> <td>グラスウール ○ 24kg/m³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm</td> <td>○</td> <td>厚さ ○ 50mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ C種 全面シート張り</p> <p>○ 設けない</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	○ A種	○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm	○ B種	○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm	○	厚さ ○ 50mm
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填										
○ A種	○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm										
○ B種	○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm	○	厚さ ○ 50mm										
4 監督職員事務所 (2.4.1)	規模 ○ 10m ² 程度 ○ 20m ² 程度 ○ 35m ² 程度 ○ 65m ² 程度 ○ 100m ² 程度 仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビニ床シート敷き ○ バックベットの敷き 内壁、天井 ○ 合板又はせっこうボード [®] 張り、合成樹脂 [®] 内塗り 屋根 ○ 塗装溶融垂れ滴き鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合板 [®] 内塗り 休憩室 ○ 設けない ○ 設ける (畳敷き) ○ _____ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類のか (上記6品、_____人分程度) ○ 書櫃 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○ _____ ○ 改修標準仕様(令和4年版) ○ 建築改修工事監理指針(令和4年版) ○ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(令和4年改定) ○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)												

章 項目	特 記 事 項
1 ① 適用基準等	○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省) ○ 建築工事標準詳細図 令和4年改定 (監修: 国土交通省) ○ 敷地調査共通仕様書 令和4年改定 (監修: 国土交通省) ○ 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定 (監修: 国土交通省) ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省) ○ 公共建築木工事標準仕様書 令和4年版 (監修: 国土交通省) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版 (監修: 国土交通省) (注: 監修編「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修を示す)
② 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとする事ができる。 (評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート(7mmデッキ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(7mm形状、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器タイル、既製調合モルタル(タイル専用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材(タイル用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シリンダ錠、インパンドル錠、シリンダ錠)、クローザー類(ドアクローザー、レジンクローザー、7mmタイプ)、自動扉機構(制御装置、駆動装置、検出装置、制御装置、駆動装置、検出装置)、自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッドドア、ガラス(7mm板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック(中空)、防水剤、現場発泡断熱材、7mmタイプ(300N、500N)、可動間仕切り(3mmタイプ)、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた(マンホールふた・井桁ふた)

章 項目	特 記 事 項																
11 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																
⑫ 施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																
⑬ 発生材の処理等 (1.3.12)	○ 引渡しを要するもの () ○ 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの () ○ 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) ○ 指定処分地 () ○ 自由処分 (最寄りの再資源化施設へ搬出すること) ○ 指定副産物以外の搬出 ○ 構外搬出適切処理 ○ () ○ 特別管理産業廃棄物																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ PCBを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ PCB含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SF6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 廃石綿の処分地 (東京都環境保全公社瑞穂センター)</p> <p>せっこうボードの処理方法 ○ 石綿含有せっこうボードの処理 改修標準仕様9.1.5による ○ ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 ○ 製造業者にて処分 ○ 埋立処分 ○ その他のせっこうボードの処理 ○ 最終処分 ○ 再資源化</p>	種 類	処 理 方 法	○ 廃石綿等		○ PCBを含む機器類		○ PCB含有シーリング		○ 廃油		○ 廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		○ 廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		○ SF6ガス使用機器	
種 類	処 理 方 法																
○ 廃石綿等																	
○ PCBを含む機器類																	
○ PCB含有シーリング																	
○ 廃油																	
○ 廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																	
○ 廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																	
○ SF6ガス使用機器																	

章 項目	特 記 事 項																																								
15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 ○ 図示による ○ _____																																								
16 技能士 (1.7.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>○ 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ○ 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALC[®] 施工</td> <td>○ コクリート[®] ロック工事作業 ○ ALC[®] 施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○ 7A7A[®]防水工事作業 ○ シーリング[®]防水工事作業 ○ アルカ[®]系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル[®]系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート[®]防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○ ビル用ガラス[®]施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア[®]施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド[®]仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>○ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 溶融[®]イントロッド[®]マーカー工事作業 ○ 加熱[®]イントロッド[®]マーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	○ とび作業	鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業	鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業	ブロック及びALC [®] 施工	○ コクリート [®] ロック工事作業 ○ ALC [®] 施工作業	カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業	防水工事	○ 7A7A [®] 防水工事作業 ○ シーリング [®] 防水工事作業 ○ アルカ [®] 系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル [®] 系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート [®] 防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業	金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築塗装作業	建具工事	○ ビル用ガラス [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア [®] 施工作業	内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド [®] 仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業	排水工事	○ 建築配管作業	舗装工事	○ 溶融 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業 ○ 加熱 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業	舗装工事	○ 造園工事作業
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
仮設工事	○ とび作業																																								
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業																																								
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業																																								
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業																																								
ブロック及びALC [®] 施工	○ コクリート [®] ロック工事作業 ○ ALC [®] 施工作業																																								
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業																																								
防水工事	○ 7A7A [®] 防水工事作業 ○ シーリング [®] 防水工事作業 ○ アルカ [®] 系塗膜防水工事作業 ○ セント系防水工事作業 ○ アクリル [®] 系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アクリルシート [®] 防水工事作業																																								
石工事	○ 石張り作業																																								
タイル工事	○ タイル張り作業																																								
木工事	○ 大工工事作業																																								
屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業																																								
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業																																								
左官工事	○ 左官作業																																								
塗装工事	○ 建築塗装作業																																								
建具工事	○ ビル用ガラス [®] 施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア [®] 施工作業																																								
内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ ボンド [®] 仕上げ工事作業 ○ 家具手加工作業 ○ 壁装作業																																								
排水工事	○ 建築配管作業																																								
舗装工事	○ 溶融 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業 ○ 加熱 [®] イントロッド [®] マーカー工事作業																																								
舗装工事	○ 造園工事作業																																								

章 項目	特 記 事 項												
17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 ○ 適用する () ○ 適用しない												
18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)												
⑯ 完成図 (1.9.2)	作成する (提出部数 ○ 2部 ○ ___部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。												
⑳ 保全に関する資料 (1.9.3)	作成する (提出部数 ○ 2部 ○ ___部) ○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ○ 建物を使用する上での注意事項 ○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上りの概要説明 ○ 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ○ 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。												
1 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 ● 施行箇所面に柱組足場を設ける。 ○ 施行箇所面にくさび梁組足場を設ける。 ○ 施行箇所面に単管本足場を設ける。 ○ 仮設ゴンドラを使用する。 ○ 移動式足場を使用する。 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ○ _____ 防護シート等 ○ 防音パネル ○ 防音シート ○ 養生シート ● ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 (表2.2.1)												
2 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ※ 行う (※ ビニールシート、合板 ○ _____) ○ 行わない 既存家具・既存設備等の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及びび保管 ○ 行う ● 行わない 養生の方法 ○ 取り外しのうえ清掃 ○ _____ 保管場所 ○ 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ _____ 家具の移動 ○ 行う (図示) ● 行わない												
3 仮設間仕切り (2.3.2)	○ 設ける (図示) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ A種</td> <td>○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm</td> <td>○ なし ○ 片面</td> <td>グラスウール ○ 24kg/m³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm</td> <td>○</td> <td>厚さ ○ 50mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ C種 全面シート張り</p> <p>○ 設けない</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	○ A種	○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm	○ B種	○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm	○	厚さ ○ 50mm
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填										
○ A種	○ せっこうボード 種類 ○ GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ _____ 厚さ ○ 50mm										
○ B種	○ 合板 材質 ○ 7mm合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm	○	厚さ ○ 50mm										
4 監督職員事務所 (2.4.1)	規模 ○ 10m ² 程度 ○ 20m ² 程度 ○ 35m ² 程度 ○ 65m ² 程度 ○ 100m ² 程度 仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビニ床シート敷き ○ バックベットの敷き 内壁、天井 ○ 合板又はせっこうボード [®] 張り、合成樹脂 [®] 内塗り 屋根 ○ 塗装溶融垂れ滴き鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合板 [®] 内塗り 休憩室 ○ 設けない ○ 設ける (畳敷き) ○ _____ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類のか (上記6品、_____人分程度) ○ 書櫃 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○ _____ ○ 改修標準仕様(令和4年版) ○ 建築改修工事監理指針(令和4年版) ○ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(令和4年改定) ○ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)												

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
2 5 工事用水 6 工事用電力 7 仮囲い等 8 設計GL	構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる (● 有償 ○ 無償) 構内既存の施設 ○ 利用できない ● 利用できる (● 有償 ○ 無償) ○ 図示による ○ ○ 図示による ○ 設計GL=現状GL	(2) 土・鉄筋・コンクリート工事	10 構造体強度補正值 (6.3.2) ※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温 (°C) 補正值 期 間 (打設日) 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm2 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	3 防水改修工事	○ 断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm ○ 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ 3.0 mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) ※ フラットヤーケロス (70g/m ² 程度) ○ 立上り部の押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○ 立上り部の保護 ○ 乾式保護材 ○ 窯業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様) (厚さ _____ 幅 _____) ○ 窯業系パネルⅡ類 (一般地仕様) (厚さ _____ 幅 _____) ○ 普通れんが (JIS R 1250) ○ 化粧れんが (JIS R 1250) ○ コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ ○ _____ mm ○ こて仕上げ _____ mm ○ 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ ○ a種 ○ b種 ○ c種 (表8.1.5) 脱気装置 ○ 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 ※ 成形伸縮目地材 ○ _____ 成形緩衝材 ※ M-フing 種類造所の指定品 ○ _____ 屋上排水溝 ※ 図示による	3 防水改修工事	6 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3) 7 漏水試験 8 保証書 9 施工標識 10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8) 11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	接着工法の場合で、P.C.コンクリート部材下地の場合 目地処理 ※ 図示による ○ _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ _____ 仕上げ塗料 ○ 珪酸塩系 ○ 珪酸塩系 脱気装置 (絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの ○ _____ 種別及び工法 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ P 0 X 工法 ※ X-1 ○ X-2 ○ X-1H ○ X-2H 表3.6.1 ● L 4 X 工法 ○ X-1 ※ X-2 表3.6.2 ○ X-1H ○ X-2H ○ P 1 Y 工法 ※ Y-2 表3.6.3 ○ P 2 Y 工法 ○ _____ 脱気装置 (X-1) ● 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ● 設けない ● 既存防水層撤去のこと。(別図参照) ※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外) ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。) 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量 (1) 箇所 シーリング材の種類 ※ 改修仕様 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所 ● シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 既存シーリング部(PC版・RC/コンクリート、建具廻り等共) ○ 拡張シーリング再充填工法 ○ プリッジ工法 仕上げを行わない施工箇所 (○ 図示による) ○ _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ発露目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験 (部位 _____) ○ 引張接着性試験 (部位 _____) ※ 外とい(外気に接するとい) 材 種 其 他 ルーフトレン ※ ルーフトレン (JW 301) 取付け ○ ● 改修用塩ビドレン ※ 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する 軒どい ○ 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm ○ (カラー) 巾150mm たてとい ○ 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm ○ 谷どい ○ とい受け金物、足金物 ※ 改修仕様 表 3.8.2 により溶融 ○ 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下 ○ 垂吊めつきを行ったもの
(2) 1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 鉄筋の種類 (5.2.1) 4 溶接金網 (5.2.2) 5 コンクリートの種類 (6.2.1) 6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) 7 セメントの種類 (6.3.1) 8 骨材 (6.3.1) 9 混和材料 (6.3.1)	本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。 なお、耐震改修工事に係る「鉄筋・コンクリート」の取り扱いは、後述の章「8 耐震改修工事」によるものとする。 ○ A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ● B種 根切り土中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ その他 (材料 _____ 工法 _____) ○ 建設発生土 (盛土材) の外側からの受入土量 (m ³) 発生場所 () 下記に定めるほかは、現場説明書による ○ 構外指示の受入場所に処分 受入場所 ○ (一財)城陽山砂利採取地整備公社 ○ _____ 土壌調査 ○ 行う (受入場所指定の検査) ○ _____ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 ● 現場敷地内 ● 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 (表5.2.1) 種類 種類 備考 異形鉄筋 ※ S D 2 9 5 D 1 6 以下 室外機基礎 ※ S D 3 4 5 D 1 9 以上 ○ 網目の形状、寸法 1.50×1.50 鉄線の径 6 mm 種類 ※ 普通コンクリート ○ _____ (表6.2.1) 類別 ※ I類 ○ II類 設計基準強度 (F _c) 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スランプ (cm) 備 考 構造体 基礎 ○ 2.4 ● 2.1 ○ 1.5 ● 1.8 室外機基礎 上部 ○ 2.4 ● 2.1 ○ 1.5 ● 1.8 土間スラブを含む 土間コンクリート ○ 1.8 ○ ○ 1.5 ○ 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート ● 1.8 ○ ○ 1.5 ○ 1.8 軽量コンクリート ○ 2.1 ○ ○ ※ 2.1 ○ 1.8 無筋コンクリート ※ 1.8 ○ ○ 1.5 ○ 1.8 標仕6.14.1による ※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 [F _c + 構造体強度補正值 (S)] N/mm ² (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○ 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____) 粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 鋼スラグ ○ フォルマリンスラグ ○ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○ _____ ○ 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) ○ 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	10 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 13 寒中コンクリート (6.11.1) 14 暑中コンクリート (6.12.2) 15 コンクリート車等の過積載防止対策等 1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 2 既存下地の処理 (3.2.6) 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5) 1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 既存保護層の撤去 ○ 行う (範囲 ○ 図示による) ● 行わない 既存防水層の撤去 ● 行う (範囲 ○ 図示による) ○ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ○ 行う (○ M4S ○ M4S1 ○ M4C ○ M4D1 ○ L4X) ● 行わない 既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 ● 図示による ○ _____ ○ 屋根保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 B 工法 ○ B-1 ○ B-2 表3.3.3 ○ P 1 B I 工法 ○ BI-1 ○ BI-2 表3.3.4 ○ P 2 A I 工法 ○ AI-1 ○ AI-2 表3.3.5 ○ AI-3 ○ P 2 A 工法 ○ A-1 ○ A-2 表3.3.6 ○ A-3 ○ 屋根露出防水工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ M 4 C 工法 ○ C-1 ○ C-2 表3.3.7 ○ C-3 ○ C-4 ○ M 3 D 工法 ○ D-1 ○ D-2 表3.3.8 ○ P 0 D 工法 ○ 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ P 0 D I 工法 ○ DI-1 ○ DI-2 表3.3.9 ○ M 3 D I 工法 ○ M 4 D I 工法 ○ 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 E 工法 ○ E-1 ○ E-2 表3.3.10 ○ P 2 E 工法	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 5 合成高分子系ルーフトレン防水 (3.5.2) ~ (3.5.4) ○ 屋根露出防水密着工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ M 4 A S 工法 ○ AS-T1 ○ AS-T2 表3.4.1 ○ AS-J2 ○ 屋根露出防水絶縁工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ M 3 A S 工法 ○ AS-T3 ○ AS-T4 表3.4.2 ○ P 0 A S 工法 ○ AS-J1 ○ AS-J3 ○ 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ M 3 A S I 工法 ○ AS1-T1 表3.4.3 ○ M 4 A S I 工法 ○ AS1-J1 ○ P 0 A S I 工法 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 ○ _____ 断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 ○ _____ 脱気装置 (絶縁工法) ※ 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) ○ 設ける ○ 設けない 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ○ P 0 S 工法 ○ S(I)-F1 表3.5.1 ○ S 4 S 工法 PC部材入隅増張 (※有り ○無し) ○ S(I)-F2 ○ S(I)-M1 ○ P 0 S I 工法 ● S(I)-M2 ○ S 4 S I 工法 ● S(I)-M2 表3.5.1 ○ S 3 S 工法 ○ S(I)-F1 表3.5.2 ○ S 3 S I 工法 PC部材入隅増張 (※有り ○無し) ○ S(I)-F2 表3.5.3 ○ M 4 S 工法 ○ S(I)-M1 ● S(I)-M2 ● M 4 S I 工法 ○ P 1 S 工法 ○ S-C1 表3.5.3 S-F1、S-M1、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様 断熱材 (断熱工法) 厚さ ● 3.0 mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 ● 3.0mm 接着工法の場合 ○ _____ S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム ○ 設置する					

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080	製図年月日 2025.4 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書-2	縮尺	図面番号 No. A-02 号図
------	---	-----------------------------------	--	----	---------------------



一級建築士登録 第125477号
細野 幹生

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																							
3 防水改修工事	<p>○ 内とい (V.P管は使用しない)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 ○ SGP ○ 径 75mm</td> <td>○ 多雪地域の軒といの垂れめつきを行ったもの</td> </tr> <tr> <td>○ 雨水管 ○ 改修仕様表 3.8.2 により溶融</td> <td>○ 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>○ 防露巻き ※ 改修仕様表 3.8.3 による</td> <td>※ F☆☆☆☆</td> </tr> </table> <p>※ 掃除口を設ける (開放性のある自転車置き場のといを除く)</p> <p>○ 養生鉄管を設ける (径 _____ 長さ _____)</p> <p>○ 既存といの撤去及び養生 (_____)</p> <p>○ 鋼管製といの防露巻き (※ 改修仕様表 3.8.4 による ○ _____)</p> <p>○ たてとい受金物 (_____)</p> <p>(表 3.9.1) (表 5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>○ AB-1種 ○ AB-2種</td> <td>隅角部及び突出部</td> </tr> <tr> <td>○ 300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>○ AC-1種 ○ AC-2種</td> <td>等の役物は本体製造</td> </tr> <tr> <td>○ 350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>○ BA-1種 ○ BA-2種</td> <td>の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>○ BB-1種 ○ BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>○ BC-1種 ○ BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>○ C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 ● 行う (範囲 ● 図示 SUS製) ● 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※ 図示 ○</p> <p>板折曲げ形の笠木取付方法 ※ 図示 ○</p> <p>建築基準法に基づき風圧力・積雪荷重に対応した工法 ※ 図示による ○ _____</p>	材 質	その他	たてとい及び横走り管 ○ SGP ○ 径 75mm	○ 多雪地域の軒といの垂れめつきを行ったもの	○ 雨水管 ○ 改修仕様表 3.8.2 により溶融	○ 取付間隔 0.5m 以下	○ 防露巻き ※ 改修仕様表 3.8.3 による	※ F☆☆☆☆	種 類	幅	板厚 (mm)	表面処理	備 考	○ 250 形	250	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突出部	○ 300 形	300	1.8	○ AC-1種 ○ AC-2種	等の役物は本体製造	○ 350 形	350	2.0	○ BA-1種 ○ BA-2種	の仕様による。	○ _____	_____	_____	○ BB-1種 ○ BB-2種		○ _____	_____	_____	○ BC-1種 ○ BC-2種		○ _____	_____	_____	○ C種		4 外壁改修工事	<p>(4.1.4) (4.3.5) ~ (4.3.8)</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <p>○ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧球 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>○ 130</td> </tr> <tr> <td>○ 手動式球 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>○ 50~100</td> <td>○ 40</td> </tr> <tr> <td>○ 機械式球 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>○ 100~200</td> <td>○ 70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>○ 150~250</td> <td>○ 130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ○ _____</p> <p>抜き取り部の補修方法 ○ 図示 ○</p> <p>○ Uカットシール材充填方法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填材料 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 ○ _____</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法</p> <p>○ パテ状エポキシ樹脂</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	○ 130	○ 手動式球 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50~100	○ 40	○ 機械式球 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100~200	○ 70		0.5以上1.0未満	○ 150~250	○ 130	4 外壁改修工事	<p>4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>● アカービン部分 球 樹脂注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25</td> <td>○</td> <td>RC部</td> </tr> <tr> <td>○ アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン部分 球 樹脂注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ○</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 ○</p> <p>注入工法用材料</p> <p>○ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>○ 充填工法用材料</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p>	工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	● アカービン部分 球 樹脂注入工法	※16 ○	○	※25	○	RC部	○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※25 ○	○	○	○		○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25		○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50		○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ 注入口付アカービン部分 球 樹脂注入工法	※9 ○	○	※25	○		○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	○	○	○		○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※25		○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50		○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	4 外壁改修工事	<p>(4.2.4) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ○</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 ○</p> <p>建築補修用注入エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ○ 中粘度形</p> <table border="1"> <tr> <th>ひび割れの幅 (mm)</th> <th>0.2~0.3未満</th> <th>0.3~0.5未満</th> <th>0.5~1.0以下</th> </tr> <tr> <th>注入孔の間隔 (mm)</th> <td>200程度</td> <td>300程度</td> <td>300程度</td> </tr> <tr> <th>注入量 (g/cm)</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ○ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>○ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れの注入状況の確認</p> <p>○ コア抜き検査 (抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ○ _____)</p> <p>○ 抜き取り部の補修方法 (抜き取り部の補修方法 _____)</p>	ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下	注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度	注入量 (g/cm)				4 外壁改修工事	<p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 ● 外壁改修範囲 ○ 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。モルタル塗替え及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示 ○ _____</p> <p>調査報告書の部数 ● 2部 ○ _____</p> <p>※ 施工に先立ち、建築士診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>● コンクリート打直し仕上げ</p> <p>● 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧球 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>○ 130</td> </tr> <tr> <td>○ 手動式球 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>○ 50~100</td> <td>○ 40</td> </tr> <tr> <td>○ 機械式球 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>○ 100~200</td> <td>○ 70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>○ 150~250</td> <td>○ 130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ○ 行う ● 行わない (注入状況確認方法 _____)</p> <p>抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ○ _____</p> <p>抜き取り部の補修方法 ○ 図示 ● 無収縮モルタル充填</p> <p>○ Uカットシール材充填方法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填材料 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 ○ _____</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法</p> <p>○ パテ状エポキシ樹脂</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	○ 130	○ 手動式球 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50~100	○ 40	○ 機械式球 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100~200	○ 70		0.5以上1.0未満	○ 150~250	○ 130	4 外壁改修工事	<p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7) (4.1.4) (4.3.9) (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>※ エポキシ樹脂モルタル</td> <td>基礎、PC版</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ モルタル塗替え工法 ※ 改修仕様表 4.3.3 による</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ タイル張替え工法</td> <td>○ 張付けモルタル ○ 現場調査材料 ○ 既調合モルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル	基礎、PC版		○ ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		○ タイル張替え工法	○ 張付けモルタル ○ 現場調査材料 ○ 既調合モルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <p>○ 目地ひび割れ部改修工法</p> <p>○ 伸縮調整目地改修工法</p> <p>位置 ※ 改修仕様表 4.4.2 による ○ 図示による</p> <p>寸法 (幅×高さ)</p> <p>コナリ打抜き目地、ひび割れ誘発目地 ※ 20mm以上×10mm以上 ○ _____</p> <p>その他 ※ 10mm以上×10mm以上 ○ _____</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)</p> <p>ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下</p> <p>注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度</p> <p>注入量 (g/cm) _____</p> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ○ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>○ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れの注入状況の確認</p> <p>○ コア抜き検査 (抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ○ _____)</p> <p>○ 抜き取り部の補修方法 (抜き取り部の補修方法 _____)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法 (4.2.6)</p> <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル ○ 行う</p> <p>8 アカービン注入工法 (4.3.5)</p> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○</p> <p>9 注入口付アカービン注入工法 (4.3.5)</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径外径6mm程度 ○</p> <p>10 モルタル塗替え工法 (4.3.5)</p> <p>モルタル ○ 現場調査材料 ○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p>
材 質	その他																																																																																																																																																																																																																													
たてとい及び横走り管 ○ SGP ○ 径 75mm	○ 多雪地域の軒といの垂れめつきを行ったもの																																																																																																																																																																																																																													
○ 雨水管 ○ 改修仕様表 3.8.2 により溶融	○ 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																													
○ 防露巻き ※ 改修仕様表 3.8.3 による	※ F☆☆☆☆																																																																																																																																																																																																																													
種 類	幅	板厚 (mm)	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																										
○ 250 形	250	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突出部																																																																																																																																																																																																																										
○ 300 形	300	1.8	○ AC-1種 ○ AC-2種	等の役物は本体製造																																																																																																																																																																																																																										
○ 350 形	350	2.0	○ BA-1種 ○ BA-2種	の仕様による。																																																																																																																																																																																																																										
○ _____	_____	_____	○ BB-1種 ○ BB-2種																																																																																																																																																																																																																											
○ _____	_____	_____	○ BC-1種 ○ BC-2種																																																																																																																																																																																																																											
○ _____	_____	_____	○ C種																																																																																																																																																																																																																											
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																											
※ 自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	○ 130																																																																																																																																																																																																																											
○ 手動式球 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50~100	○ 40																																																																																																																																																																																																																											
○ 機械式球 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100~200	○ 70																																																																																																																																																																																																																											
	0.5以上1.0未満	○ 150~250	○ 130																																																																																																																																																																																																																											
工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																									
● アカービン部分 球 樹脂注入工法	※16 ○	○	※25	○	RC部																																																																																																																																																																																																																									
○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※25 ○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25																																																																																																																																																																																																																										
○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50																																																																																																																																																																																																																										
○ アカービン全面 球 樹脂注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン部分 球 樹脂注入工法	※9 ○	○	※25	○																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※25																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50																																																																																																																																																																																																																										
○ 注入口付アカービン全面 球 樹脂注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																										
広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																									
(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																									
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																									
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下																																																																																																																																																																																																																											
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度																																																																																																																																																																																																																											
注入量 (g/cm)																																																																																																																																																																																																																														
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																											
※ 自動式低圧球 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	○ 130																																																																																																																																																																																																																											
○ 手動式球 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	○ 50~100	○ 40																																																																																																																																																																																																																											
○ 機械式球 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	○ 100~200	○ 70																																																																																																																																																																																																																											
	0.5以上1.0未満	○ 150~250	○ 130																																																																																																																																																																																																																											
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																												
○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル	基礎、PC版																																																																																																																																																																																																																												
	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																													
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																												
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																													
○ タイル張替え工法	○ 張付けモルタル ○ 現場調査材料 ○ 既調合モルタル ○ 一液反応硬化形成成リコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																													

章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																												
4 外壁改修工事	<p>11 躯体部分張替え工法及び躯体張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8)</p> <p>12 窓下人研面台の補修</p> <p>⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)</p> <p>⑭ 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)</p>																																																																																																																																												
4 外壁改修工事	<p>施工箇所及びタイルの種類</p> <p>形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 その他</p> <p>○ 図示 ○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ※ 標準 ○ 有り ○ 磁器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 特注 ○ 無し</p> <p>○ 既調合モルタル ()</p> <p>タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う (施工箇所)</p> <p>タイルの見本焼 ※ 行わない ○ 行う (範囲、仕様は図示による)</p> <p>施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く)</p> <p>浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う</p> <p>接着力の試験 ※ 接着力試験機による接着力試験を行う ○ 行わない</p> <p>タイル張替え工法の伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地位置 ※ 改修仕様表4.4.2による ○ 図示による</p> <p>○ シール工法 (※仕上塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。)</p> <p>※ 塗膜防水 (※弾性ウレタン系 ○エポキシ系)</p> <p>(表4.5.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 外装薄塗材Si</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材S</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 外装薄塗材E</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 平たん状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材E</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 平たん状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形外装薄塗材E (○ 増塗材)</td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装薄塗材S</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 外装厚塗材C</td> <td>○ 吹放し ○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 平たん状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○ 上塗材)</td> <td>○ ひき起こし ○ かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装厚塗材Si</td> <td>○ 吹放し ○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装厚塗材E</td> <td>○ 平たん状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○ 上塗材)</td> <td>○ ひき起こし</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 複層塗材CE</td> <td>○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材Si</td> <td>○ 凹凸状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材E</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材RE</td> <td>○ 凸部処理 ○ 凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形複層塗材CE</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材CE</td> <td>○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材E</td> <td>○ 凹凸状 (○ 増塗材)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材RE</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考メーカー：エスケー化研(株)、菊水化学工業(株)、日本ペイント(株)</p> <p>可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材E</td> <td>○ 平たん状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材RE</td> <td>○ さざ波状</td> <td>ローラ塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材CE</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防火材料の指定 ※ なし ○ _____</p> <p>下地補修後の打直しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>※ 行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>○ 行わない</p> <p>仕上塗材の耐凍性 ※ 耐凍形3種 ● 耐凍形1種</p> <p>仕上塗材の上塗材 溶媒 ※ 水系 ○ _____</p> <p>樹脂 ※ アクリル系 ● シリコン系</p> <p>樹質 ※ つや有 ○ つやなし ○ メタリック</p> <p>既存塗膜の除去方法 ※ 試験施工実施</p> <p>○ サンダー工法</p> <p>○ 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ○ 30Mpa ○ _____)</p> <p>○ 塗膜はく離剤工法 (製造所: _____)</p> <p>● 水洗い工法 (○ 70℃以上 ○ 高圧ノズル 10~15pa)</p> <p>既存塗膜の除去範囲</p> <p>※ 既存仕上面全体 ○ 既存壁面の (_____ %) ○ 別図に示す範囲</p>	種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 外装薄塗材Si	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け		○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗			○ 可とう形外装薄塗材S	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け		○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗			● 外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け		○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り			● ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗			○ 着色骨材砂壁状	こて塗り吹付け			○ 可とう形外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け		○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り			○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗			○ 防水形外装薄塗材E (○ 増塗材)	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗		○ 凹凸状	吹付け			○ 外装薄塗材S	砂壁状	吹付け		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 外装厚塗材C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け		○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り			(○ 上塗材)	○ ひき起こし ○ かき落とし			○ 外装厚塗材Si	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け		○ 外装厚塗材E	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り		(○ 上塗材)	○ ひき起こし	ローラ塗		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け		○ 複層塗材Si	○ 凹凸状			○ 複層塗材E	○ ゆず肌状	ローラ塗		○ 複層塗材RE	○ 凸部処理 ○ 凹凸状	吹付け		○ 可とう形複層塗材CE	○ ゆず肌状	ローラ塗		○ 防水形複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け		○ 防水形複層塗材E	○ 凹凸状 (○ 増塗材)			○ 防水形複層塗材RE	○ ゆず肌状	ローラ塗		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 可とう形改修塗材E	○ 平たん状	ローラ塗		○ 可とう形改修塗材RE	○ さざ波状	ローラ塗		○ 可とう形改修塗材CE	○ ゆず肌状	吹付け	
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																										
○ 外装薄塗材Si	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																											
○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																												
○ 可とう形外装薄塗材S	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																											
○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																												
● 外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																											
○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																												
● ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																												
○ 着色骨材砂壁状	こて塗り吹付け																																																																																																																																												
○ 可とう形外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																											
○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																												
○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																												
○ 防水形外装薄塗材E (○ 増塗材)	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																											
○ 凹凸状	吹付け																																																																																																																																												
○ 外装薄塗材S	砂壁状	吹付け																																																																																																																																											
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																										
○ 外装厚塗材C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																											
○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																												
(○ 上塗材)	○ ひき起こし ○ かき落とし																																																																																																																																												
○ 外装厚塗材Si	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																											
○ 外装厚塗材E	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																											
(○ 上塗材)	○ ひき起こし	ローラ塗																																																																																																																																											
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																										
○ 複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																											
○ 複層塗材Si	○ 凹凸状																																																																																																																																												
○ 複層塗材E	○ ゆず肌状	ローラ塗																																																																																																																																											
○ 複層塗材RE	○ 凸部処理 ○ 凹凸状	吹付け																																																																																																																																											
○ 可とう形複層塗材CE	○ ゆず肌状	ローラ塗																																																																																																																																											
○ 防水形複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																											
○ 防水形複層塗材E	○ 凹凸状 (○ 増塗材)																																																																																																																																												
○ 防水形複層塗材RE	○ ゆず肌状	ローラ塗																																																																																																																																											
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																										
○ 可とう形改修塗材E	○ 平たん状	ローラ塗																																																																																																																																											
○ 可とう形改修塗材RE	○ さざ波状	ローラ塗																																																																																																																																											
○ 可とう形改修塗材CE	○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																											
4 外壁改修工事	<p>15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)</p> <p>16 部分改修工法 (4.5.7)</p> <p>17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)</p>																																																																																																																																												
4 外壁改修工事	<p>下地処理 下地のひび割れ部等の補修 ○ 図示による</p> <p>下地調整材 ※ セメント系下地調整材 (JIS A 6916)</p> <p>○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ 防水形仕上塗材主材 (JIS A 6910(複層仕上塗材))</p> <p>種別 ○ A種 ※ B種 (表4.6.1)</p> <p>仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上塗材 ○ 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材</p> <p>○ 防水形複層仕上塗材 ○ マスチック塗材</p> <p>施工箇所 ○ 別図に示す範囲 ○ _____</p> <p>外壁用塗膜防水塗り</p> <p>仕上りの形状 _____ 工法 _____</p> <p>外壁用仕上塗材の耐凍性 ○ _____</p> <p>下地準動線衝材の適用 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p> <p>外壁用仕上塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p>																																																																																																																																												
5 建具改修工事	<p>1 性能 ※ 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p> <p>2 施工数量調査 ※ 行う (○ 建具金物 ○ ガラス ○ ガラス止め材 ○ _____)</p> <p>※ 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>○ 行わない</p> <p>3 改修工法 (5.1.3)</p> <p>既存建具を新規建具に改修する場合</p> <p>※ かぶせ工法 (○ カバー工法 ○ 持出し工法 ○ ノンシール工法)</p> <p>○ 撤去工法 (○ はつり工法 ○ 引き抜き工法)</p> <p>新規に建具を設置する場合</p> <p>新規建具を設ける壁の開口方法 ※ 図示による ○ _____</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による ○ _____</p> <p>4 防火戸 (5.1.4)</p> <p>※ 図示による ○ _____</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>○ 連動させる (※建具表による ○ _____)</p> <p>○ 連動させない</p> <p>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)</p> <p>建具見本の製作 ○ 行う (建具番号 _____)</p> <p>特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具番号 _____)</p> <p>○ ブランドボックス等の再使用 (_____)</p> <p>6 防犯建物部品 (5.1.7)</p> <p>開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所</p> <p>・ ドア 適用箇所 (_____)</p> <p>・ サッシ 適用箇所 (_____)</p> <p>・ シャッター 適用箇所 (_____)</p> <p>7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)</p> <p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-3 ○</td> <td>○</td> <td>※ A-4 ○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※ W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○ 70</td> <td>○ 100</td> <td>○ 図示 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ B/B-1種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○ B/B-2種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 ※ 図示による ○ _____</p> <p>水切り、ぜんば等 ※ 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○	水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○	枠見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○	種 別	色	施 工 箇 所	○ B/B-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○ B/B-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○	○ 標準 ○ 特注	○	○	○ 標準 ○ 特注	○	○	○ 標準 ○ 特注	○																																																																																																						
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																																																																																																																																										
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																																																																																																																																										
気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○																																																																																																																																										
水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○																																																																																																																																										
枠見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○																																																																																																																																										
種 別	色	施 工 箇 所																																																																																																																																											
○ B/B-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																																																																																																																											
○ B/B-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																																																																																																																											
○	○ 標準 ○ 特注	○																																																																																																																																											
○	○ 標準 ○ 特注	○																																																																																																																																											
○	○ 標準 ○ 特注	○																																																																																																																																											
5 建具改修工事	<p>8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)</p> <p>5 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)</p> <p>9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)</p> <p>10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)</p> <p>11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.4.4)</p> <p>12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.4.4)</p>																																																																																																																																												
5 建具改修工事	<p>防虫網 網の種類 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>※ ステンレス製 (SUS316)</p> <p>形 式 ※ ポリマー可動式 ○ 固定式</p> <p>線径、網目 ※ 0.25mm以上、16~18メッシュ ○ _____</p> <p>防鳥網 ○ 設置する</p> <p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-4 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ H-7 ○ H-8)</p> <p>ガラス ※ 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○ _____</p> <p>表面色 ○ 標準色 ○ 特注色</p> <p>水切り、ぜんば等 ※ 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (_____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1)</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による)</p> <p>※ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板厚の厚さ ※ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>○ _____ mm</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p> <p>簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2)</p> <p>鋼板 ※ 表面処理垂れつき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板</p> <p>○ カラー鋼板</p> <p>鋼板厚の厚さ ※ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>○ _____ mm</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (_____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1)</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差</p> <p>※ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面仕上げ</p> <p>曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-4 ○	○	○	水密性	※ W-4 ○	○	○	枠見込み(mm)	※ 図示 ○	○	○																																																																																																																								
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																																																																																																																																										
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																																																																																																																																										
気密性	※ A-4 ○	○	○																																																																																																																																										
水密性	※ W-4 ○	○	○																																																																																																																																										
枠見込み(mm)	※ 図示 ○	○	○																																																																																																																																										
5 建具改修工事	<p>13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)</p> <p>マスターキーの製作</p> <p>※ 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) ○ 作成しない</p> <p>○ 在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 ※ 3本1組 (室札付き) ○ _____</p> <p>鍵箱 ※ 無 ○ 有</p> <p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ シリンダー錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シリンダー: ステンレス</td> <td>○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 本締り錠</td> <td>シリンダー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 空錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ グレモン錠</td> <td>レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス、(○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ビレットヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>○ 自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>○ フロアヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>○ ビンツ加ザー(丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>○ 遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>○ ビンツ加ザー(ビレット型)</td> <td>加へ部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ドアクローザー</td> <td>本体: 亜鉛合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖位置調整器</td> <td>ステンレス、(○ 鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 押棒・押板</td> <td>(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>上げ落とし (フランス落とし)</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7-ムストッパー</td> <td>鋼 (加ムつき)、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ あり止め付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>引戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引戸用錠</td> <td></td> <td>木製建具の場合: シリンダーはステンレス</td> </tr> <tr> <td>○ クレセント</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>引手類</td> <td></td> <td>木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)</td> </tr> <tr> <td>戸車 (上吊りの場合を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール</td> <td>ステンレス、(○ 7-ム合金 ○ 黄銅)</td> <td>黄銅は木製建具用のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>窓 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレセント・調整器・ヒンジ等</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>金属製建具用丁番 ※ 表5.8.2による ○ _____</p> <p>樹脂製建具用丁番 ※ 表5.8.3による ○ _____</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能</p> <p>○ 引き戸用駆動装置性能値 (5.9.2) (5.9.3)</p> <p>※ 改修仕様表5.9.11による (○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値</p> <p>※ 改修仕様表5.9.21による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)		○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)		シリンダー: ステンレス	○ 耐じん性能のグレード ○	○ 本締り錠	シリンダー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)			○ 耐じん性能のグレード ○	○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)		○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)		○ グレモン錠	レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 (_____)	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		丁番	ステンレス、(○ 黄銅)		○ ビレットヒンジ	加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き	○ フロアヒンジ	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー	○ ビンツ加ザー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き	○ ビンツ加ザー(ビレット型)	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)		○ ドアクローザー	本体: 亜鉛合金			7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖位置調整器	ステンレス、(○ 鋼)		○ 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 (_____)	上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		○ 7-ムストッパー	鋼 (加ムつき)、(○ ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ あり止め付き	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	引戸用錠		木製建具の場合: シリンダーはステンレス	○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 (_____)	引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)	戸車 (上吊りの場合を除く)			レール	ステンレス、(○ 7-ム合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。		種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源	○ _____	_____	_____	_____	_____	_____	種類	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源	○ _____	_____	_____	_____	_____	_____																				
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																											
○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)																																																																																																																																											
	○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)																																																																																																																																											
	シリンダー: ステンレス	○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																																																																											
○ 本締り錠	シリンダー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)																																																																																																																																											
		○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																																																																											
○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)																																																																																																																																											
	○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)																																																																																																																																												
○ グレモン錠	レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 (_____)																																																																																																																																											
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																												
点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																																																																												
丁番	ステンレス、(○ 黄銅)																																																																																																																																												
○ ビレットヒンジ	加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																											
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き																																																																																																																																											
○ フロアヒンジ	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																											
○ ビンツ加ザー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き																																																																																																																																											
○ ビンツ加ザー(ビレット型)	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)																																																																																																																																												
○ ドアクローザー	本体: 亜鉛合金																																																																																																																																												
	7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																												
閉鎖位置調整器	ステンレス、(○ 鋼)																																																																																																																																												
○ 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 (_____)																																																																																																																																											
上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																																																																												
○ 7-ムストッパー	鋼 (加ムつき)、(○ ステンレス)																																																																																																																																												
戸当り	亜鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ あり止め付き																																																																																																																																											
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																											
引戸用錠		木製建具の場合: シリンダーはステンレス																																																																																																																																											
○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 (_____)																																																																																																																																											
引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)																																																																																																																																											
戸車 (上吊りの場合を除く)																																																																																																																																													
レール	ステンレス、(○ 7-ム合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ																																																																																																																																											
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																											
クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。																																																																																																																																												
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																								
○ _____	_____	_____	_____	_____	_____																																																																																																																																								
種類	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																								
○ _____	_____	_____	_____	_____	_____																																																																																																																																								
5 建具改修工事	<p>14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)</p>																																																																																																																																												

章 項 目	特 記 事 項																																						
4 外壁改修工事	<p>15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)</p> <p>16 部分改修工法 (4.5.7)</p> <p>17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)</p>																																						
5 建具改修工事	<p>1 性能 ※ 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p> <p>2 施工数量調査 ※ 行う (○ 建具金物 ○ ガラス ○ ガラス止め材 ○ _____)</p> <p>※ 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>○ 行わない</p> <p>3 改修工法 (5.1.3)</p> <p>既存建具を新規建具に改修する場合</p> <p>※ かぶせ工法 (○ カバー工法 ○ 持出し工法 ○ ノンシール工法)</p> <p>○ 撤去工法 (○ はつり工法 ○ 引き抜き工法)</p> <p>新規に建具を設置する場合</p> <p>新規建具を設ける壁の開口方法 ※ 図示による ○ _____</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による ○ _____</p> <p>4 防火戸 (5.1.4)</p> <p>※ 図示による ○ _____</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>○ 連動させる (※建具表による ○ _____)</p> <p>○ 連動させない</p> <p>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)</p> <p>建具見本の製作 ○ 行う (建具番号 _____)</p> <p>特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具番号 _____)</p> <p>○ ブランドボックス等の再使用 (_____)</p> <p>6 防犯建物部品 (5.1.7)</p> <p>開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所</p> <p>・ ドア 適用箇所 (_____)</p> <p>・ サッシ 適用箇所 (_____)</p> <p>・ シャッター 適用箇所 (_____)</p> <p>7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)</p> <p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-3 ○</td> <td>○</td> <td>※ A-4 ○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※ W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○ 70</td> <td>○ 100</td> <td>○ 図示 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ B/B-1種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○ B/B-2種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 ※ 図示による ○ _____</p> <p>水切り、ぜんば等 ※ 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○	水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○	枠見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○	種 別	色	施 工 箇 所	○ B/B-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○ B/B-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○	○ 標準 ○ 特注	○	○	○ 標準 ○ 特注	○	○	○ 標準 ○ 特注	○
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																																				
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																																				
気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○																																				
水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○																																				
枠見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○																																				
種 別	色	施 工 箇 所																																					
○ B/B-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																					
○ B/B-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																					
○	○ 標準 ○ 特注	○																																					
○	○ 標準 ○ 特注	○																																					
○	○ 標準 ○ 特注	○																																					

章 項 目	特 記 事 項																																																																			
5 建具改修工事	<p>8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)</p> <p>9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)</p> <p>10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)</p> <p>11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.4.4)</p> <p>12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.2.5) (5.4.2) (5.4.4)</p>																																																																			
5 建具改修工事	<p>防虫網 網の種類 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>※ ステンレス製 (SUS316)</p> <p>形 式 ※ ポリマー可動式 ○ 固定式</p> <p>線径、網目 ※ 0.25mm以上、16~18メッシュ ○ _____</p> <p>防鳥網 ○ 設置する</p> <p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-4 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ H-7 ○ H-8)</p> <p>ガラス ※ 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○ _____</p> <p>表面色 ○ 標準色 ○ 特注色</p> <p>水切り、ぜんば等 ※ 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (_____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1)</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による)</p> <p>※ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板厚の厚さ ※ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>○ _____ mm</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p> <p>簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2)</p> <p>鋼板 ※ 表面処理垂れつき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板</p> <p>○ カラー鋼板</p> <p>鋼板厚の厚さ ※ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>○ _____ mm</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (_____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1)</p> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3)</p> <p>○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3)</p> <p>○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差</p> <p>※ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面仕上げ</p> <p>曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-4 ○	○	○	水密性	※ W-4 ○	○	○	枠見込み(mm)	※ 図示 ○	○	○																																															
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																																																																	
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																																																																	
気密性	※ A-4 ○	○	○																																																																	
水密性	※ W-4 ○	○	○																																																																	
枠見込み(mm)	※ 図示 ○	○	○																																																																	
5 建具改修工事	<p>13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)</p> <p>マスターキーの製作</p> <p>※ 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) ○ 作成しない</p> <p>○ 在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 ※ 3本1組 (室札付き) ○ _____</p> <p>鍵箱 ※ 無 ○ 有</p> <p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ シリンダー錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シリンダー: ステンレス</td> <td>○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 本締り錠</td> <td>シリンダー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 空錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ グレモン錠</td> <td>レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス、(○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ビレットヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>○ 自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>○ フロアヒンジ</td> <td>加へ部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>○ ビンツ加ザー(丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>○ 遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>○ ビンツ加ザー(ビレット型)</td> <td>加へ部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ドアクローザー</td> <td>本体: 亜鉛合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖位置調整器</td> <td>ステンレス、(○ 鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 押棒・押板</td> <td>(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)</td> <td>○ 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>上げ落とし (フランス落とし)</td> <td>亜鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td></tr></tbody></table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)		○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)		シリンダー: ステンレス	○ 耐じん性能のグレード ○	○ 本締り錠	シリンダー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)			○ 耐じん性能のグレード ○	○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)		○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)		○ グレモン錠	レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 (_____)	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		丁番	ステンレス、(○ 黄銅)		○ ビレットヒンジ	加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き	○ フロアヒンジ	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー	○ ビンツ加ザー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き	○ ビンツ加ザー(ビレット型)	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)		○ ドアクローザー	本体: 亜鉛合金			7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖位置調整器	ステンレス、(○ 鋼)		○ 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 (_____)	上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)		○
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																		
○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)																																																																		
	○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)																																																																		
	シリンダー: ステンレス	○ 耐じん性能のグレード ○																																																																		
○ 本締り錠	シリンダー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製建具、ステンレス建具)																																																																		
		○ 耐じん性能のグレード ○																																																																		
○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス	○ 取付位置 (_____)																																																																		
	○ レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス、○ 黄銅)																																																																			
○ グレモン錠	レバーノブ: 亜鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 (_____)																																																																		
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																			
点検口錠	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																			
丁番	ステンレス、(○ 黄銅)																																																																			
○ ビレットヒンジ	加へ部: ステンレス、(○ 亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																		
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き																																																																		
○ フロアヒンジ	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー																																																																		
○ ビンツ加ザー(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き																																																																		
○ ビンツ加ザー(ビレット型)	加へ部: ステンレス、(本体は鋼)																																																																			
○ ドアクローザー	本体: 亜鉛合金																																																																			
	7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																			
閉鎖位置調整器	ステンレス、(○ 鋼)																																																																			
○ 押棒・押板	(○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂)	○ 取付位置 (_____)																																																																		
上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																			
○																																																																				

章 項 目	特 記 事 項																																																																
5 建具改修工事	<p>○ 引き戸用検出装置性能値 ※ 改修標準 表5.9.31による ○ 放射線周波数電磁界耐性</p> <table border="1"> <tr> <td>耐電圧</td> <td>防錆</td> <td>防滴</td> <td>電源</td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 ※ 建具表による ○ _____ 引き戸検出装置の種類 ○ 表 5.9.4 (_____) による ※ 建具表による タッチスイッチの種類 ○ 無線式タッチスイッチ ○ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所 ○ 大形押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ○ 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>○40以下</td> <td>○40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※20以下 ○</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※20以下 ○</td> </tr> </table> <p>性能等 _____ 品質・規格 _____</p> <p>種 類 ○ 管理用シャッター (ジャッキケース ○ 設ける) 耐風圧強度 (_____) ○ 外壁用防火シャッター (ジャッキケース ※ 設ける) 耐風圧強度 (_____) ○ 屋内用防火シャッター (ジャッキケース ※ 設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (ジャッキケース ※ 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 _____ Pa 開閉方式 ※ 電動式 (手動併用) ○ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3302</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3312</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> </table> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>開閉方式 ○ 電動式 (手動併用) ※ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ 耐風圧強度 _____ Pa スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3312</td> <td>○ Z06又はF06を満足するもの ○</td> <td>○ インターロック形</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3322</td> <td>○ A290を満足するもの ○</td> <td>○ オーバーラッピング形</td> </tr> </table> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>セクション材 ※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能 _____ Pa 開閉方式 ※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ 収納形式 ○ スタンド形 ○ ローヘッド形 ○ ハイリフト形 ○ パーテカル形 ガイドレール ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類等</th> <th>種 別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>○ 強化ガラス</td> <td>○ 強化ガラス</td> <td>○ 熱線吸収ガラス</td> <td>○ 熱線吸収ガラス</td> </tr> <tr> <td>○ 複層ガラス</td> <td>○ 複層ガラス</td> <td>○ 複層ガラス</td> <td>○ 複層ガラス</td> </tr> <tr> <td>○ 線入ガラス</td> <td>○ 熱線反射ガラス</td> <td>○ 熱線反射ガラス</td> <td>○ 熱線反射ガラス</td> </tr> <tr> <td>○ 合わせガラス</td> <td>○ 倍強度ガラス</td> <td>○ 倍強度ガラス</td> <td>○ 倍強度ガラス</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>○ アルミニウム建具</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> <td>※ 建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス建具</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	耐電圧	防錆	防滴	電源	適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を超えるもの	手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○	手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○	材 質	めっきの付着量	○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○	○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○	材 質	めっきの付着量	形 状	○ JIS G 3312	○ Z06又はF06を満足するもの ○	○ インターロック形	○ JIS G 3322	○ A290を満足するもの ○	○ オーバーラッピング形	種 別	種類等	種 別	種類等	○ 強化ガラス	○ 強化ガラス	○ 熱線吸収ガラス	○ 熱線吸収ガラス	○ 複層ガラス	○ 複層ガラス	○ 複層ガラス	○ 複層ガラス	○ 線入ガラス	○ 熱線反射ガラス	○ 熱線反射ガラス	○ 熱線反射ガラス	○ 合わせガラス	○ 倍強度ガラス	○ 倍強度ガラス	○ 倍強度ガラス	種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	○ アルミニウム建具	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	○ 鋼製建具	○	○	○	○ ステンレス建具	○	○	○
耐電圧	防錆	防滴	電源																																																														
適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を超えるもの																																																															
手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○																																																															
手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○																																																															
材 質	めっきの付着量																																																																
○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																
○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																
材 質	めっきの付着量	形 状																																																															
○ JIS G 3312	○ Z06又はF06を満足するもの ○	○ インターロック形																																																															
○ JIS G 3322	○ A290を満足するもの ○	○ オーバーラッピング形																																																															
種 別	種類等	種 別	種類等																																																														
○ 強化ガラス	○ 強化ガラス	○ 熱線吸収ガラス	○ 熱線吸収ガラス																																																														
○ 複層ガラス	○ 複層ガラス	○ 複層ガラス	○ 複層ガラス																																																														
○ 線入ガラス	○ 熱線反射ガラス	○ 熱線反射ガラス	○ 熱線反射ガラス																																																														
○ 合わせガラス	○ 倍強度ガラス	○ 倍強度ガラス	○ 倍強度ガラス																																																														
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																														
○ アルミニウム建具	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による	※ 建具製造所の仕様による																																																														
○ 鋼製建具	○	○	○																																																														
○ ステンレス建具	○	○	○																																																														

章 項 目	特 記 事 項																																								
5 20 ガラス留め材 (5.14.2)	<table border="1"> <tr> <th>建 具 の 種 類</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 (SR-1) ○ グレージングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>○ グレージングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ パテ (木製用)</td> </tr> </table> <p>※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>パ タ ー ン</th> <th>防 火 認 定</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ クリア ○ 粉 ()</td> <td></td> <td></td> <td>※ なし</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 乳白 ○ 熱線反射</td> <td></td> <td>○ あり</td> </tr> </table> <p>※ 品質規格はJIS A512 による ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>○ 壁用金属枠及び補強材 _____ ○ 石膏 材質 ※ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 径5.5mmのはしご形状補強及び単筋 ○ _____ ○ シーリング ※ 表3.7.11による ○ SR-1 ○ PS-1 ○ _____ ○ 化粧目地モルタルの色 ○ 白 ○ グレー ○ 金属製化粧カバー 材質 ※ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 図示による ○ _____</p> <p>○ 目地幅の寸法 ○ 平積みの場合 ※ 8mm以上、15mm以下 ○ _____ ○ 曲面積みの場合 ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスの幅寸法の10倍以上) ○ _____ ○ 伸縮調整目地の位置 ※ 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。 ○ _____</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 ※ A種 ○ B種 代用樹種の適用 ※ 可 ○ 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>○ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標準 5.7.2(イ)(a)による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※ 図示による ○ _____ (表5.7.6) 引き戸の召合せかまのいんろう付きの適用 ○ 適用しない ○ 適用する</p> <p>○ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ○ _____</p> <p>○ ふすま 張りの種別 ○ I型 ○ II型 上張り (押入等の裏側以外) ○ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 ※ 19.5mm ○ _____</p> <p>○ 戸ぶすま 表面板の仕上 ※ 図示による ○ _____ 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>○ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板</p> <p>種類 _____ 厚さ _____ mm</p>	建 具 の 種 類	材 質	アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-1) ○ グレージングチャンネル	樹脂製	○ グレージングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種	木製	※ パテ (木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定	○	○ クリア ○ 粉 ()			※ なし	x	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射		○ あり	表面材の合板の種類	規 格 等	備 考	○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ MDF		
建 具 の 種 類	材 質																																								
アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-1) ○ グレージングチャンネル																																								
樹脂製	○ グレージングチャンネル																																								
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材 (SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種																																								
木製	※ パテ (木製用)																																								
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定																																					
○	○ クリア ○ 粉 ()			※ なし																																					
x	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射		○ あり																																					
表面材の合板の種類	規 格 等	備 考																																							
○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																								
○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																								
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																								
○ MDF																																									

章 項 目	特 記 事 項																																																																		
6 ① 揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	<p>木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床材、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>2 他部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示による ○ 範囲 () 仕上げ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>工 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ ビニル床シート等</td> <td>○ 下地材の除去</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 合成樹脂塗床材</td> <td>○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 ※ 改修標準 4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ○ 行う ○ 行わない) ○ _____</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修標準 6.5.2(イ)(ウ)(b)による 含水率 下地材 ※ A種 (15%以下) ○ B種 (20%以下) 造作材 ※ A種 (15%以下) ○ B種 (18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1級 ※ 2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 特等 ※ 1等 ○ 2等</td> <td>※ 10%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ A種 ○ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	工 法	施 工 箇 所	○ ビニル床シート等	○ 下地材の除去	※ 図示による ○ _____	○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法	※ 図示による ○ _____	○ フローリング張り床材			○ 床タイル			○ 床組			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				○ 1級 ※ 2級			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				○ 特等 ※ 1等 ○ 2等	※ 10%以下		使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率				※ A種 ○ B種		
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																	
○ ビニル床シート等	○ 下地材の除去	※ 図示による ○ _____																																																																	
○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法	※ 図示による ○ _____																																																																	
○ フローリング張り床材																																																																			
○ 床タイル																																																																			
○ 床組																																																																			
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																														
			○ 1級 ※ 2級																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																														
			○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																														
			○ 特等 ※ 1等 ○ 2等	※ 10%以下																																																															
使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率																																																														
			※ A種 ○ B種																																																																

章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																												
6 内装改修工事	<p>使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 ○ 工事完成までに、ウッドマレーン002京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマレーン002計算書) (注1) を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注2) を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。</p> <p>○ 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。</p> <p>※ 京都木材規格 (KTS) 材を使用する場合は、京都木材規格 (KTS) 材証明書 (発行機関: (一社) 京都府木材組合連合会) を提出すること。</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ○ 2等</td> </tr> </table> <p>○ 化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ○ 2等</td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下 ○</td> </tr> </table> <p>○ 化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下 ○</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工</td> <td>※ 14%以下 ○</td> <td>○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> </table> <p>○ JAS 3079 (直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ性能 (強度等級)</th> <th>種 別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹 種</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>※ 押入れ、物入れ</td> <td></td> <td>※ 5.5mm ○ _____</td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 2類</td> <td>広葉樹 ※ 2等以上 ○ _____ 針葉樹 ※ C-D 以上 ○ _____</td> <td></td> <td>○ 防虫処理 ○ 防カビ処理 ○ 防炎処理</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>等級</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>※ 畳床下地材、フローリング張り下地材</td> <td></td> <td>※ 2級 以上 ○ _____</td> <td>※ 12mm ○ _____</td> <td></td> <td>※ 1類 ○ 特類</td> <td>※ C-D 以上 ○ _____</td> <td></td> <td>○ 防虫処理 ○ 強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 特類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 2類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 目</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質						※ 1等 ○ 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質							※ 1等 ○ 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率						※ 15%以下 ○	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率							※ 15%以下 ○	使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理				○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	○ 適用する ○ 適用しない	使用箇所	寸 法	表面の品質	含水率	防虫処理			○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	※ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない	施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸法 (mm)								使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	※ 押入れ、物入れ		※ 5.5mm ○ _____		○ 1類 ○ 2類	広葉樹 ※ 2等以上 ○ _____ 針葉樹 ※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 防カビ処理 ○ 防炎処理	使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	※ 畳床下地材、フローリング張り下地材		※ 2級 以上 ○ _____	※ 12mm ○ _____		※ 1類 ○ 特類	※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 強度等級	使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理						○ 1類 ○ 特類	使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理					○ 1類 ○ 2類	使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理							
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																								
					※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																								
使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																							
						※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																							
使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																								
					※ 15%以下 ○																																																																																																																																																								
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																							
						※ 15%以下 ○																																																																																																																																																							
使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																									
			○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																									
使用箇所	寸 法	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																									
		○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	※ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																									
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸法 (mm)																																																																																																																																																							
使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																						
※ 押入れ、物入れ		※ 5.5mm ○ _____		○ 1類 ○ 2類	広葉樹 ※ 2等以上 ○ _____ 針葉樹 ※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 防カビ処理 ○ 防炎処理																																																																																																																																																						
使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																					
※ 畳床下地材、フローリング張り下地材		※ 2級 以上 ○ _____	※ 12mm ○ _____		※ 1類 ○ 特類	※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 強度等級																																																																																																																																																					
使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																								
					○ 1類 ○ 特類																																																																																																																																																								
使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																									
				○ 1類 ○ 2類																																																																																																																																																									
使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																							

章 項 目	特 記 事 項																																																									
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15mm ○</td> <td>※13Pタイプ又は13Mタイプ ○</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ○ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 ※ かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂れめっきの種別】のF種程度の垂れめっきを施したものを ○</p> <p>○ 防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____ ○ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ K2 ○ K3 ○ K4</p> <p>○ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ○ ※ 薬剤の製造所の仕様による ※ JIS K 1571に適合又は同等品 ○</p> <p>○ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ ○ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 ※ 行う (範囲 ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) ○ 行わない</p> <p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 ※ 19型 ○ 25型 (表6.6.1) 屋外 ○ 19型 ※ 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm 周辺部の端からの寸法 _____ mm 野縁の間隔 _____ mm はずれ留め補強 ※ 有り ○ 無し 既存の埋込みインサートの使用 ※ 再利用しない ○ 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 ○ 行う (____箇所以上、 ____箇所) ○ 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ○ _____ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) ※ 改修標仕6.6.4(8)による ○ _____ (3mを超える) ※ 図示による ○ _____ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) ※ 表6.7.1における対「D」の高さによる区分に応じた種類 ○ _____ スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示による ○ _____</p> <p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>工 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>○ 単層ビニル床シート</td> <td>TS</td> <td>○ 2.5</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 熱溶接</td> <td>※ 仕上表による</td> </tr> <tr> <td>○ 複層ビニル床シート</td> <td>FS</td> <td>※ 2.0</td> <td>○ マーブル</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>○ 発泡複層ビニル床シート</td> <td>HS</td> <td>○</td> <td>○ 柄物</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ クッションフロア</td> <td>KS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	厚さ	各種区分		※15mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所	発泡層無	○ 単層ビニル床シート	TS	○ 2.5	※ 無地	※ 熱溶接	※ 仕上表による	○ 複層ビニル床シート	FS	※ 2.0	○ マーブル	○		発泡層有	○ 発泡複層ビニル床シート	HS	○	○ 柄物	○		○ クッションフロア	KS				
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																							
	※15mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○																																																								
使用箇所	等級	厚さ																																																								
使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																					
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所																																																				
発泡層無	○ 単層ビニル床シート	TS	○ 2.5	※ 無地	※ 熱溶接	※ 仕上表による																																																				
	○ 複層ビニル床シート	FS	※ 2.0	○ マーブル	○																																																					
発泡層有	○ 発泡複層ビニル床シート	HS	○	○ 柄物	○																																																					
	○ クッションフロア	KS																																																								

章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																							
6 内装改修工事	<p>○ ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>※ コボ「ジッソ」ビニル床タイル</td> <td>KT</td> <td>※ 2.0 ○ 3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 単層ビニル床タイル</td> <td>TT</td> <td>○ 2.0 ○</td> <td>○ 無地 ○ 柄物</td> <td>○ 300×300 ○ 450×450</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重ね敷き</td> <td>○ 複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>○ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 重ね敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>○ 4.0 ○</td> <td></td> <td>○ 500×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重ね敷き</td> <td>○ 薄型重ね敷きビニル床タイル</td> <td>FOB</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 帯電防止シート ○ 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>※ 体積抵抗値 1.0×10⁹ Ω以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 塩化ビニル系</td> <td>※ 300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ レジンコンクリート系</td> <td>○ 150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 磁器又はセラミック系</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防湿性床シート ○ 防湿性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 軟質</td> <td>※ 60 ○ 75 ○ 100</td> <td>○ ※ 1.5 ○ 2.0</td> </tr> </table> <p>○ ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 単層品 ○ 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色 柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td></td> <td>○ 適用</td> <td>※ 無地</td> <td>※ ヒド「ソ」工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ つづり織り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ グリパ「工法</td> <td>○ 適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 一種</td> <td>※ ループパイル</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※ 市松敷き ○ _____ 階段部分 ※ 模様流し ○ _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ _____ 見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ _____</p> <p>厚膜型塗床材 ○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) ○ _____ ○ エポキシ樹脂系塗床材 ※ 薄膜流しのペ工法 (○ 平滑 ○ 防滑) ○ 厚膜流しのペ工法 (○ 平滑 ○ 防滑) ○ 樹脂モルタル工法 (○ 平滑 ○ 防滑) 薄膜型塗床材 ○ エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着形	※ コボ「ジッソ」ビニル床タイル	KT	※ 2.0 ○ 3.0				○ 単層ビニル床タイル	TT	○ 2.0 ○	○ 無地 ○ 柄物	○ 300×300 ○ 450×450		重ね敷き	○ 複層ビニル床タイル	FT	○ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0				○ 重ね敷きビニル床タイル	FOA	○ 4.0 ○		○ 500×500		重ね敷き	○ 薄型重ね敷きビニル床タイル	FOB	○		○		種 類	性 能	厚 さ (mm)	○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下		○			種 類	形 状	備 考	○ 塩化ビニル系	※ 300mm角		○ レジンコンクリート系	○ 150mm角		○ 磁器又はセラミック系	○		種 類	厚 さ (mm)	備 考	○			○			種 類	寸 法	厚 さ (mm)	○			○			種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	○ 軟質	※ 60 ○ 75 ○ 100	○ ※ 1.5 ○ 2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		○ 単層品 ○ 積層品			種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所	○ A種		○ 適用	※ 無地	※ ヒド「ソ」工法			○ B種				○ つづり織り			○ C種							パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			○ グリパ「工法	○ 適用				○ 全面接着工法			種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	※ 一種	※ ループパイル	※ 500×500	※ 6.5		○ 二種				
	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																	
接着形	※ コボ「ジッソ」ビニル床タイル	KT	※ 2.0 ○ 3.0																																																																																																																																																					
	○ 単層ビニル床タイル	TT	○ 2.0 ○	○ 無地 ○ 柄物	○ 300×300 ○ 450×450																																																																																																																																																			
重ね敷き	○ 複層ビニル床タイル	FT	○ 2.0 ○ 2.5 ○ 3.0																																																																																																																																																					
	○ 重ね敷きビニル床タイル	FOA	○ 4.0 ○		○ 500×500																																																																																																																																																			
重ね敷き	○ 薄型重ね敷きビニル床タイル	FOB	○		○																																																																																																																																																			
	種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																					
○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下																																																																																																																																																							
○																																																																																																																																																								
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																						
○ 塩化ビニル系	※ 300mm角																																																																																																																																																							
○ レジンコンクリート系	○ 150mm角																																																																																																																																																							
○ 磁器又はセラミック系	○																																																																																																																																																							
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																								
○																																																																																																																																																								
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																								
○																																																																																																																																																								
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																						
○ 軟質	※ 60 ○ 75 ○ 100	○ ※ 1.5 ○ 2.0																																																																																																																																																						
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																					
	○ 単層品 ○ 積層品																																																																																																																																																							
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																		
○ A種		○ 適用	※ 無地	※ ヒド「ソ」工法																																																																																																																																																				
○ B種				○ つづり織り																																																																																																																																																				
○ C種																																																																																																																																																								
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																				
		○ グリパ「工法	○ 適用																																																																																																																																																					
		○ 全面接着工法																																																																																																																																																						
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																				
※ 一種	※ ループパイル	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																					
○ 二種																																																																																																																																																								

章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																										
6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○</td> <td></td> <td>釘留め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 15 ○ 12 ○ 8</td> <td>○ 表6.11.1 ○ 表6.11.3 ○ 表6.11.5</td> <td>○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 8 ○ 15 ○</td> <td></td> <td>○ 接着工法</td> <td>○ 防水処理金物付</td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 8 ○ 15 ○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 1×6タイプ</td> <td></td> <td>○ 8</td> <td>釘留め工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 15 ○</td> <td>○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法</td> <td>○ A種 ○ B種 ○ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ボードタイプ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ _____</p> <p>仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地のままワックス塗り ○ _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (畳表: ○ C1 ○ C2)</p> <p>13 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による ○ _____</p> <p>種別 ※ 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td>○ セッコウボード (GB-R)</td> <td>※ 12.5 (不燃)</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 化粧セッコウボード (GB-D)</td> <td>○ 杉板模様</td> <td>○ 12.5 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)</td> <td>○ トラバーチン模様</td> <td>※ 9.5 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 模様なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ シージングセッコウボード (GB-S)</td> <td>○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ○ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 強化セッコウボード (GB-F)</td> <td>○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール吸音ボード (RW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ グラスウール吸音ボード (GW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 吸音あなまきセッコウボード (GB-P)</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ○ 6.0 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による ※ 1.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 難燃木毛セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 難燃木毛セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 火山性ガラス質被覆板</td> <td>○ 研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ</td> <td></td> <td>防虫処理○行う</td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 防虫処理○行う</td> </tr> <tr> <td>○ その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) ○ A種 ○ B種 セッコウボードの目地処理 (表6.13.5) ○ 縫目処理 ○ 突付け ○ 目透かし</p> <p>突付け工法及び目透し工法の種類 (表6.13.5) ○ ベベルエッジ ○ スクエアエッジ</p>	種 類	樹 種	厚 さ (mm)	大 小	工 法	備 考	○ フローリング	※ なら	○		釘留め工法		○ フローリング	※ なら	○ 15 ○ 12 ○ 8	○ 表6.11.1 ○ 表6.11.3 ○ 表6.11.5	○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法		○ フローリング	※ なら	○ 8 ○ 15 ○		○ 接着工法	○ 防水処理金物付	○ フローリング	※ なら	○ 8 ○ 15 ○				種 類	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	種 別	備 考	○ 1×6タイプ		○ 8	釘留め工法			○ フローリング	※ なら	○ 15 ○	○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法	○ A種 ○ B種 ○ C種		○ ボードタイプ						種 類	規 格	厚 さ (mm)	等	○ セッコウボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃)	○ 9.5 (準不燃)		○ 化粧セッコウボード (GB-D)	○ 杉板模様	○ 12.5 (不燃)		○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様	※ 9.5 (不燃)		○ 模様なし				○ シージングセッコウボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ○ 9.5 (準不燃)			○ 強化セッコウボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)			○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○			○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○			○ 吸音あなまきセッコウボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)			○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)			○ 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)				○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ○ 6.0 ○			○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2			○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15			○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15			○ 火山性ガラス質被覆板	○ 研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)			○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種			○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ		防虫処理○行う	○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS		化粧加工の方法 防虫処理○行う	○ その他下張り用合板			
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																					
○ フローリング	※ なら	○		釘留め工法																																																																																																																																							
○ フローリング	※ なら	○ 15 ○ 12 ○ 8	○ 表6.11.1 ○ 表6.11.3 ○ 表6.11.5	○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法																																																																																																																																							
○ フローリング	※ なら	○ 8 ○ 15 ○		○ 接着工法	○ 防水処理金物付																																																																																																																																						
○ フローリング	※ なら	○ 8 ○ 15 ○																																																																																																																																									
種 類	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																						
○ 1×6タイプ		○ 8	釘留め工法																																																																																																																																								
○ フローリング	※ なら	○ 15 ○	○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法	○ A種 ○ B種 ○ C種																																																																																																																																							
○ ボードタイプ																																																																																																																																											
種 類	規 格	厚 さ (mm)	等																																																																																																																																								
○ セッコウボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃)	○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																									
○ 化粧セッコウボード (GB-D)	○ 杉板模様	○ 12.5 (不燃)																																																																																																																																									
○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様	※ 9.5 (不燃)																																																																																																																																									
○ 模様なし																																																																																																																																											
○ シージングセッコウボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																										
○ 強化セッコウボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)																																																																																																																																										
○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○																																																																																																																																										
○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○																																																																																																																																										
○ 吸音あなまきセッコウボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																										
○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)																																																																																																																																										
○ 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)																																																																																																																																											
○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ○ 6.0 ○																																																																																																																																										
○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2																																																																																																																																										
○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																																																																																										
○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																																																																																										
○ 火山性ガラス質被覆板	○ 研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研産品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)																																																																																																																																										
○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																										
○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ		防虫処理○行う																																																																																																																																								
○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS		化粧加工の方法 防虫処理○行う																																																																																																																																								
○ その他下張り用合板																																																																																																																																											

章 項 目	特 記 事 項																																						
6 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びセッコウプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.4) コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.5) セッコウボード面及びその他のボード面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 ○ アルミニウム製 ○ 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 設ける (形状 _____) 床目地 ○ 設ける ○ 設けない 目地の種類 ※ 押目地 ○ _____ 目地割り ※ 2m程度 ○ _____ 最大目地間隔 ※ 3m程度 ○ _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ _____ 壁面 ※ 図示による ○ _____</p> <p>タイルの試験張り ○ 行わない ○ 行う タイルの見本焼 ○ 行わない ○ 行う</p> <p>施工後の確認及び試験 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・寸法の種類</th> <th>生 地</th> <th>釉 薬</th> <th>耐 凍 害 性</th> <th>耐 滑 り 性</th> <th>役 物</th> <th>色</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター</td> <td>○ 無釉 ○ 施釉</td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td></td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td>※ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター</td> <td>○ 無釉 ○ 施釉</td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td></td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td>※ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター</td> <td>○ 無釉 ○ 施釉</td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td></td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td>※ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル ○ 密着張り ○ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ○ マスク張り ○ モザイクタイル張り 内装タイル接着剤の有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ ○ 既調合モルタル 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ○ 目荒し工法 ○ _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚 (mm) ○ 10 ○ 15 ○ _____</p>	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格				施工箇所・形状・寸法の種類	生 地	釉 薬	耐 凍 害 性	耐 滑 り 性	役 物	色	工 法		○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注			○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注			○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注	
	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																				
施工箇所・形状・寸法の種類	生 地	釉 薬	耐 凍 害 性	耐 滑 り 性	役 物	色	工 法																																
	○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注																																	
	○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注																																	
	○ 磁器 ○ 陶器 ○ セッター	○ 無釉 ○ 施釉	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注																																	

① 塗装材料 (7.1.3)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____
② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)	塗替えて下地調整の種別がR8R8の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ※ 図示による (表7.2.1) ~ (表7.2.7)

素 地	種 別	備 考
木部	○ RA種 ※ 不透膜塗料塗りの場合はRB種 ○ RC種	
鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	
垂れめつき鋼面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	
モルタル及びセッコウボード面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない
コンクリート面及びALCパネル面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない
コンクリート面及び押出成形コンクリート面	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない
セッコウボード面及びその他ボード面	○ RA種 ※ RB種 ○ RC種	

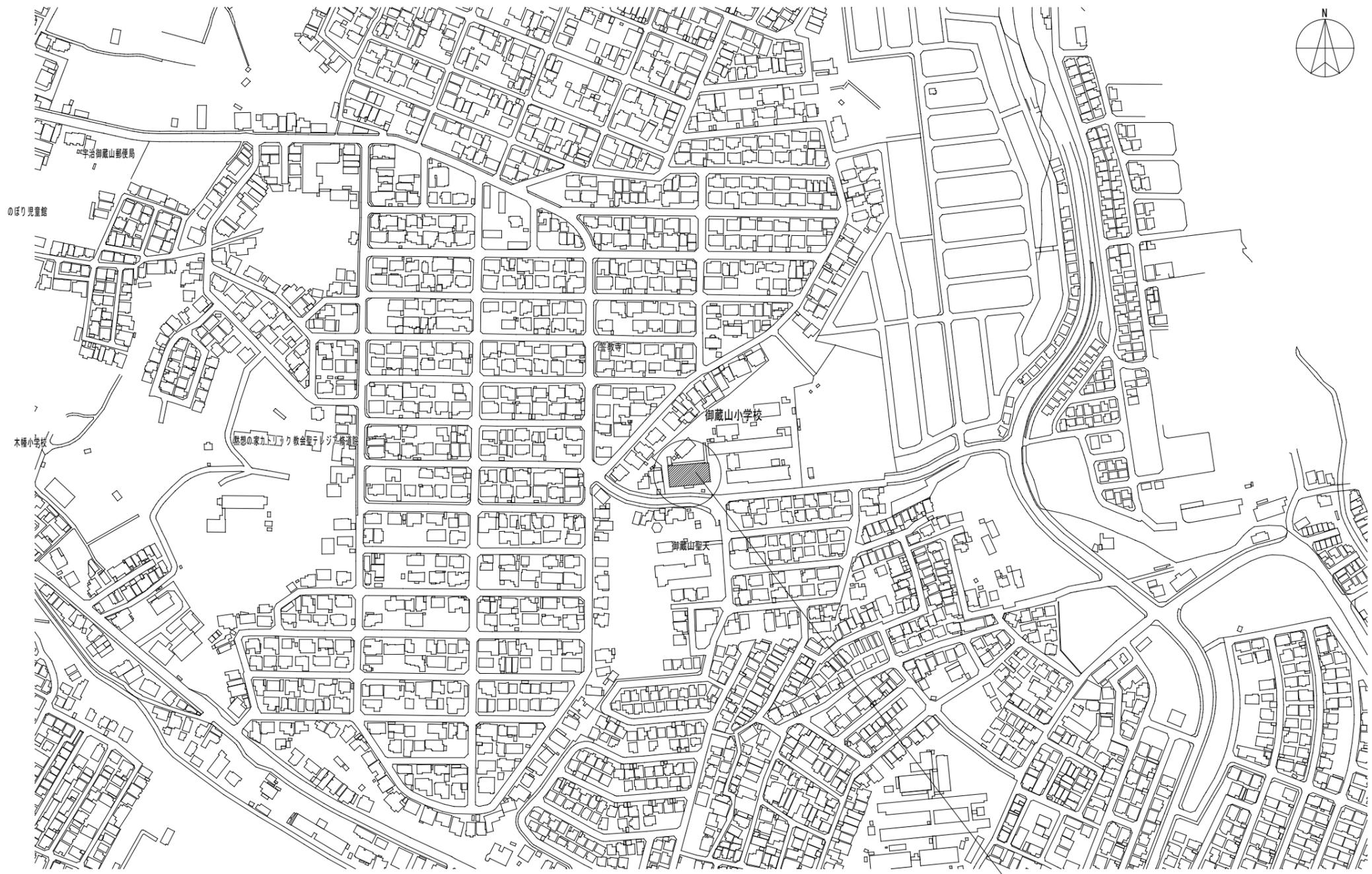
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7 塗装改修工事	<p>③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">下地面等</td><td>種 別</td></tr> <tr><td>木部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※ A種 ○ B種</td></tr> <tr><td></td><td>透明塗料塗りの場合</td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP以外)</td><td></td><td>○ A種 ○ B種 ※ C種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP)</td><td></td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td>○ A種 ○ B種</td></tr> <tr><td>モルタル面及びせっこうアクリル面 (DP)</td><td></td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td>コンクリート面 (DP以外) 及びALC面</td><td></td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td><td></td><td>○ A種 ○ B種</td></tr> <tr><td>コンクリート面 (DPのみ)</td><td></td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td>せっこうボード面及びその他のボード面</td><td>目地：継目処理工法</td><td>※ A種 ○ B種</td></tr> <tr><td></td><td>目地：継目処理工法以外</td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> </table> <p>④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)</p> <table border="1"> <tr><td>素地面</td><td>塗装の種類</td><td>塗料の種類</td><td>工程の種類</td><td>備考</td></tr> <tr><td rowspan="6">鉄鋼面</td><td>SOP (工程の種類は表7.4.3)</td><td>塗替え</td><td>○ A種 ※ C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>E-P-G (工程の種類は表7.4.3)</td><td>塗替え</td><td>○ A種 ※ B種 ※ C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>DP (工程の種類は表7.4.4)</td><td>塗替え</td><td>○ A種 ※ B種 ※ C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">新規</td><td>7.4.2(1)(イ)</td><td>○ B種 (下地調整)</td><td>○ C種 (下地調整)</td><td></td></tr> <tr><td>(a)による</td><td>○ A種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="6">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP (工程の種類は表7.4.5)</td><td>新 鋼製建具等</td><td>※ A種 ○ B種 ※ C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>規 其他</td><td>※ B種 ○</td><td>※ B種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>E-P-G (工程の種類は表7.4.5)</td><td>塗替え</td><td>○ C種 ○ ※ C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>DP (工程の種類は表7.4.6)</td><td>塗替え</td><td>○ B種 ○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">新規</td><td>○ B種 ○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2">工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1)</td></tr> <tr><td>記号</td><td>名 称</td><td>種 別</td></tr> <tr><td rowspan="3">SOP</td><td>合成樹脂調整ペイント塗り</td><td>木部 新規外部 ○ A種 ○ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">種類</td><td>新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) ○ C種</td></tr> <tr><td rowspan="3">鉄鋼面</td><td>鉄鋼面</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>鋼製建具</td><td>※ A種 ○ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>塗替え</td><td>塗替え</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他塗替え・新規</td><td>その他塗替え</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>新規</td><td>○ B種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>CL</td><td>リチウム塗り</td><td>○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種</td></tr> <tr><td colspan="3">※屋根遮熱塗装：超耐久型フッ素樹脂系屋根用遮熱塗料 エキア研(株)及び同等品 下地調整はRB種とする</td></tr> <tr><td>NAD</td><td>珪素樹脂系 非水分散形塗料塗り</td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td rowspan="3">DP</td><td rowspan="3">耐候性塗料塗り</td><td>鉄鋼面</td><td>○</td></tr> <tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>○</td></tr> <tr><td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td><td>○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種</td></tr> <tr><td rowspan="3">上塗り</td><td rowspan="3">○ 1級 ふっ素樹脂系等</td><td>○ 2級 シリコン系等</td><td></td></tr> <tr><td>○ 3級 ポリウレタン系等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">E-P-G</td><td rowspan="3">つや有合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り</td><td>コンクリート面、せっこうアクリル面、モルタル面、せっこうボード面、その他のボード面</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>しみ止め</td><td>○</td></tr> <tr><td>※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">木部</td><td rowspan="3">新規</td><td>※ A種 ○ B種 ○ C種</td><td></td></tr> <tr><td>塗替え</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>※ A種 ○ B種</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td>EP</td><td>合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り</td><td>○ A種 ※ B種 ○ C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">しみ止め</td><td rowspan="2">しみ止め</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">UC</td><td rowspan="2">珪素樹脂ニス塗り</td><td>○ A種 ※ B種</td><td></td></tr> <tr><td>○ ドクタートン塗り (表7.13.1)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">珪素樹脂ニス塗り</td><td rowspan="2">珪素樹脂ニス塗り (OS)</td><td>○ A種 ※ B種</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td>WP</td><td>木材保護塗料塗り</td><td>○ A種 ※ B種</td></tr> <tr><td colspan="3">クイヤラッカー塗りA種の工程2の運用</td></tr> <tr><td colspan="3">○ 適用する (着色剤：○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない</td></tr> <tr><td colspan="3">ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用</td></tr> <tr><td colspan="3">○ 適用する ○ 適用しない</td></tr> <tr><td colspan="3">オイルステイン塗りの工程等</td></tr> <tr><td colspan="3">○</td></tr> </table>	下地面等		種 別	木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ○ B種		透明塗料塗りの場合	○ A種 ※ B種	鉄鋼面 (DP以外)		○ A種 ○ B種 ※ C種	鉄鋼面 (DP)		○ A種 ※ B種 ○ C種	亜鉛めっき鋼面		○ A種 ○ B種	モルタル面及びせっこうアクリル面 (DP)		○ A種 ※ B種	コンクリート面 (DP以外) 及びALC面		○ A種 ※ B種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		○ A種 ○ B種	コンクリート面 (DPのみ)		○ A種 ※ B種	せっこうボード面及びその他のボード面	目地：継目処理工法	※ A種 ○ B種		目地：継目処理工法以外	○ A種 ※ B種	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○ A種 ※ C種 ○		E-P-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○		DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○		新規	7.4.2(1)(イ)	○ B種 (下地調整)	○ C種 (下地調整)		(a)による	○ A種			亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	新 鋼製建具等	※ A種 ○ B種 ※ C種 ○		規 其他	※ B種 ○	※ B種 ○		E-P-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	○ C種 ○ ※ C種 ○		DP (工程の種類は表7.4.6)	塗替え	○ B種 ○		新規	○ B種 ○								工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1)		記号	名 称	種 別	SOP	合成樹脂調整ペイント塗り	木部 新規外部 ○ A種 ○ B種 ○ C種	種類	新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種	塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) ○ C種	鉄鋼面	鉄鋼面	○ A種 ※ B種 ○ C種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種 ○ B種 ○ C種	塗替え	塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種	その他塗替え・新規	その他塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種	新規	○ B種 ○		CL	リチウム塗り	○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種	※屋根遮熱塗装：超耐久型フッ素樹脂系屋根用遮熱塗料 エキア研(株)及び同等品 下地調整はRB種とする			NAD	珪素樹脂系 非水分散形塗料塗り	○ A種 ※ B種	DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面	○	亜鉛めっき鋼面	○	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種	上塗り	○ 1級 ふっ素樹脂系等	○ 2級 シリコン系等		○ 3級 ポリウレタン系等				E-P-G	つや有合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り	コンクリート面、せっこうアクリル面、モルタル面、せっこうボード面、その他のボード面	○ A種 ※ B種 ○ C種	しみ止め	○	※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)		木部	新規	※ A種 ○ B種 ○ C種		塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種	鉄鋼面	○ A種 ※ B種 ○ C種	鉄鋼面	亜鉛めっき鋼面	※ A種 ○ B種				EP	合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り	○ A種 ※ B種 ○ C種	しみ止め	しみ止め	○		※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)		UC	珪素樹脂ニス塗り	○ A種 ※ B種		○ ドクタートン塗り (表7.13.1)		珪素樹脂ニス塗り	珪素樹脂ニス塗り (OS)	○ A種 ※ B種				WP	木材保護塗料塗り	○ A種 ※ B種	クイヤラッカー塗りA種の工程2の運用			○ 適用する (着色剤：○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない			ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用			○ 適用する ○ 適用しない			オイルステイン塗りの工程等			○			<p>8-1 耐震補強工事 (鉄筋工事)</p> <p>1 鉄筋の種類 (8.2.1)</p> <table border="1"> <tr><td>異形鉄筋</td><td>種類の記号</td><td>径 (mm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td rowspan="3">○</td><td>※ SD295</td><td>D 16以下</td><td></td></tr> <tr><td>※ SD345</td><td>D 19以上</td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ SD295はF_o・21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する</p> <p>2 溶接金網 (8.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 (mm) _____</p> <p>3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)</p> <table border="1"> <tr><td>部 位</td><td>接 合 方 法</td><td>径 (mm)</td></tr> <tr><td rowspan="3">○</td><td>○ 重ね継手</td><td>D 19以上</td></tr> <tr><td>○ 機械式継手</td><td>○ 溶接継手</td><td></td></tr> <tr><td>○ 重ね継手</td><td>○ ガス圧接継手</td><td>D 16以下</td></tr> <tr><td rowspan="3">○</td><td>○ 機械式継手</td><td>○ 溶接継手</td><td></td></tr> <tr><td>○ 重ね継手</td><td>○ ガス圧接継手</td><td>D 16以下</td></tr> <tr><td>○ 機械式継手</td><td>○ 溶接継手</td><td></td></tr> </table> <p>○ 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※ 構造図による</p> <p>○ 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき ※ 構造図による</p> <p>○ 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※ 構造図による</p> <p>○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 表8.3.3による</p> <p>○ 鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表8.3.4による</p> <p>○ 機械式定着工法 適用箇所、種類 ※ 構造図による</p> <p>○ 帯筋組立の形、継手及び定着 ※ 構造図による</p> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)</p> <p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ</p> <p>※ 構造図による ○ 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。)</p> <p>○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。</p> <p>○ 塩害の及ぶおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。</p> <table border="1"> <tr><td>施 工 箇 所 等</td><td>最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table> <p>機械式継手及び溶接継手のあき ○ _____</p> <p>5 圧接完了後の試験 (8.3.8)</p> <p>試験方法</p> <p>○ 超音波探傷試験を全圧接部で行う。</p> <p>6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)</p> <p>形状 ○ スパイラル筋 ○ _____</p> <p>種類の記号 ○ SR235 または SWM-P ○ _____</p> <p>呼び径、曲げ直径、ピッチ ○ 図示による () ○ _____</p>	異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考	○	※ SD295	D 16以下		※ SD345	D 19以上		S			部 位	接 合 方 法	径 (mm)	○	○ 重ね継手	D 19以上	○ 機械式継手	○ 溶接継手		○ 重ね継手	○ ガス圧接継手	D 16以下	○	○ 機械式継手	○ 溶接継手		○ 重ね継手	○ ガス圧接継手	D 16以下	○ 機械式継手	○ 溶接継手		施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)			<p>8-2 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)</p> <table border="1"> <tr><td>コンクリートの種類</td><td>※ I類 ○ II類</td></tr> <tr><td colspan="4">○ 普通コンクリート</td></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>F_c (N/mm²)</td><td>スランブ (cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>基礎</td><td>○ 24 ○</td><td>○ 18 ○</td><td></td></tr> <tr><td>上部</td><td>○ 24 ○</td><td>○ 18 ○</td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">○ 軽量コンクリート</td></tr> <tr><td>打 設 部 位 (適用箇所)</td><td>F_c (N/mm²)</td><td>スランブ (cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>○ 21 ○</td><td>※ 21 ○</td><td></td></tr> </table> <p>※ 構造体コンクリートの免強度は以下のとおりとする。 [F_c + 構造体強度補正值 (S)] / N/mm² (標仕6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p> <p>2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>○ 高炉セメントのB種 (施工箇所 _____)</p> <p>○ シリカセメント</p> <p>○ フライアッシュセメントのB種 (施工箇所 _____)</p> <p>骨材</p> <p>粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H</p> <p>細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 鋼スラグ ○ フェロニッケルスラグ ○ 再生骨材H</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○ _____</p>	コンクリートの種類	※ I類 ○ II類	○ 普通コンクリート				打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考	基礎	○ 24 ○	○ 18 ○		上部	○ 24 ○	○ 18 ○		○ 軽量コンクリート				打 設 部 位 (適用箇所)	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考		○ 21 ○	※ 21 ○		<p>8-1 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>3 構造体強度補正值 (8.2.5)</p> <p>※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4)</p> <table border="1"> <tr><td>予想平均気温 (°C)</td><td>補正值</td><td colspan="3">期 間 (打 設 日)</td></tr> <tr><td>普通</td><td>早強 (S)</td><td>南部地域</td><td>中部地域</td><td>北部地域</td></tr> <tr><td>8以上</td><td>5以上</td><td>3</td><td>3/6 ~ 6/31</td><td>3/11 ~ 7/20</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>N/mm²</td><td>9/11 ~ 11/15</td><td>9/1 ~ 10/31</td></tr> <tr><td>0以上</td><td>0以上</td><td>6</td><td>11/16 ~ 3/5</td><td>11/ 6 ~ 3/10</td></tr> <tr><td>8未満</td><td>5未満</td><td>N/mm²</td><td></td><td>11/ 1 ~ 3/10</td></tr> </table> <p>南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村)</p> <p>北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町)</p> <p>中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京町を含む)</p> <p>4 構造体用モルタル (8.2.6)</p> <p>モルタル圧縮強度 _____</p> <p>フロー値 _____</p> <p>5 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板</p> <p>○ _____</p> <p>合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ _____</p> <p>厚さ (mm) ※ 12 ○ _____</p> <p>打直し仕上げのせき板</p> <p>※ 合板せき板を用いる場合 (表8.1.4)</p> <table border="1"> <tr><td>種 別</td><td>板 面 の 品 質</td><td>施 工 箇 所</td></tr> <tr><td>○ A種</td><td>※8.2.7(2)(7) ○</td><td></td></tr> <tr><td>○ B種</td><td>※8.2.7(2)(4) ○</td><td></td></tr> <tr><td>○ C種</td><td>※8.2.7(2)(4) ○</td><td></td></tr> </table> <p>○ 合板せき板を用いない場合</p> <p>せき板の材料 _____</p> <p>コンクリートの仕上げの平たんさ</p> <table border="1"> <tr><td>種 別</td><td>適 用 箇 所</td></tr> <tr><td>○ a種</td><td></td></tr> <tr><td>○ b種</td><td></td></tr> <tr><td>○ c種</td><td></td></tr> </table> <p>6 コンクリートの試験 (8.2) ~ (8.8.5)</p> <p>※ フレッシュコンクリートの試験</p> <p>○ 省略する</p> <p>7 軽量コンクリート (8.9.1)</p> <p>常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可</p> <p>種類 ○ 1種 ○ 2種</p> <p>気乾単位容積質量 _____ t/m³</p> <p>8 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <table border="1"> <tr><td>地 域</td><td>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</td><td>補 正 値</td></tr> <tr><td>北 部 地 域</td><td>7月11日~8月31日</td><td rowspan="3">※ 6N/mm² ○ 3N/mm²</td></tr> <tr><td>中 部 地 域</td><td>7月21日~8月31日</td></tr> <tr><td>南 部 地 域</td><td>7月1日~9月10日</td></tr> </table> <p>9 寒中コンクリート</p> <p>※ 予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第5節 (寒中コンクリート) による。</p>	予想平均気温 (°C)	補正值	期 間 (打 設 日)			普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20			N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm ²		11/ 1 ~ 3/10	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	○ A種	※8.2.7(2)(7) ○		○ B種	※8.2.7(2)(4) ○		○ C種	※8.2.7(2)(4) ○		種 別	適 用 箇 所	○ a種		○ b種		○ c種		地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日~8月31日	※ 6N/mm ² ○ 3N/mm ²	中 部 地 域	7月21日~8月31日	南 部 地 域	7月1日~9月10日	<p>8-2 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)</p> <p>コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ○ _____</p> <p>設計基準強度 ※ 18N/mm² ○ _____</p> <p>スランブ ※ 15cm又は18cm ○ _____</p> <p>セメントの種類</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>○ 高炉セメントB種</p> <p>○ フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所</p> <p>※ 標準仕様書6.14.1(4)による箇所</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>11 コンクリート車の過積載防止対策等</p> <p>受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。</p>	<p>8-3 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事)</p> <p>1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)</p> <p>○ 金属系アンカー</p> <p>引張耐力 _____ せん断耐力 _____</p> <p>径 _____ 埋込み長さ _____</p> <p>セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ○ _____</p> <p>接合筋の種類 _____ 長さ _____</p> <p>径 _____</p> <p>○ 接着系アンカー</p> <p>引張耐力 _____ せん断耐力 _____</p> <p>種類 ※ カプセル型回転・打撃式 ○ _____</p> <p>アンカー筋 ※ 改修仕様表8.2.1の異形棒鋼種類 _____</p> <p>径 _____ 埋込み長さ _____</p> <p>新設壁内への定着長さ _____</p> <p>埋め込み配管等の調査</p> <p>範囲 ※ あと施工アンカー施工部分全て</p> <p>方法 ※ 鉄筋探知機(金属探知機)により調査し、鉄筋、配管類の位置に</p> <p>差出しを行う。</p> <p>○ 図示による</p> <p>2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7)</p> <p>性能確認試験 ○ 行わない ○ 行う</p> <p>施工確認試験 ※ 行う (引張試験機による引張試験 確認強度 _____)</p> <p>○ 行わない</p> <p>1ロット ※ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ○ _____</p> <p>試験の箇所数 ※ 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る ○ _____</p>	<p>8-4 耐震補強工事 (鉄骨工事)</p> <p>1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)</p> <p>○ 監督職員の承諾する工場</p> <p>※ 建築基準法第68条の2(5)に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (OS OH OM OR OJ) グレード以上</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)</p> <p>○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>3 鋼材の種類 (8.2.8)</p> <table border="1"> <tr><td>種類の記号</td><td>使 用 箇 所</td><td>規格等</td></tr> <tr><td>SS400</td><td></td><td>JIS G 3101</td></tr> <tr><td>SM400A</td><td></td><td>JIS G 3106</td></tr> <tr><td>SM400A</td><td></td><td>JIS G 3136</td></tr> </table> <p>※ 図示による</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <p>ボルトの種類 ○ トルシア高力ボルト (建築基準法の認定品)</p> <p>○ JIS S高力ボルト (JIS B 1186) 2種 (F10T)</p> <p>○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法の認定品、1種 (F8T))</p> <p>ねじの呼び _____</p> <p>すべり係数試験 (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p> <p>○ 行わない</p> <p>○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ _____</p> <p>JIS S高力ボルトの本締め、ボルトの長さかねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 _____</p>	種類の記号	使 用 箇 所	規格等	SS400		JIS G 3101	SM400A		JIS G 3106	SM400A		JIS G 3136
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	透明塗料塗りの場合	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面 (DP以外)		○ A種 ○ B種 ※ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面 (DP)		○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
亜鉛めっき鋼面		○ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
モルタル面及びせっこうアクリル面 (DP)		○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面 (DP以外) 及びALC面		○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		○ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面 (DPのみ)		○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
せっこうボード面及びその他のボード面	目地：継目処理工法	※ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	目地：継目処理工法以外	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○ A種 ※ C種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	E-P-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	○ A種 ※ B種 ※ C種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	新規	7.4.2(1)(イ)	○ B種 (下地調整)	○ C種 (下地調整)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		(a)による	○ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	新 鋼製建具等	※ A種 ○ B種 ※ C種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
規 其他		※ B種 ○	※ B種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
E-P-G (工程の種類は表7.4.5)		塗替え	○ C種 ○ ※ C種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
DP (工程の種類は表7.4.6)		塗替え	○ B種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
新規		○ B種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
記号	名 称	種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SOP	合成樹脂調整ペイント塗り	木部 新規外部 ○ A種 ○ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	種類	新規内部 ○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		塗替え ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面	鉄鋼面	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種 ○ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	塗替え	塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他塗替え・新規	その他塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規	○ B種 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
CL	リチウム塗り	○ A種 (着色塗料の種類) ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※屋根遮熱塗装：超耐久型フッ素樹脂系屋根用遮熱塗料 エキア研(株)及び同等品 下地調整はRB種とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
NAD	珪素樹脂系 非水分散形塗料塗り	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		亜鉛めっき鋼面	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		コンクリート面及び押出成形セメント板面	○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
上塗り	○ 1級 ふっ素樹脂系等	○ 2級 シリコン系等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		○ 3級 ポリウレタン系等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
E-P-G	つや有合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り	コンクリート面、せっこうアクリル面、モルタル面、せっこうボード面、その他のボード面	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		しみ止め	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木部	新規	※ A種 ○ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		塗替え	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		鉄鋼面	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面	亜鉛めっき鋼面	※ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
EP	合成樹脂珪素樹脂ペイント塗り	○ A種 ※ B種 ○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
しみ止め	しみ止め	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		※ しみ止め剤 (B種及びC種の場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
UC	珪素樹脂ニス塗り	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		○ ドクタートン塗り (表7.13.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
珪素樹脂ニス塗り	珪素樹脂ニス塗り (OS)	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
WP	木材保護塗料塗り	○ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
クイヤラッカー塗りA種の工程2の運用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 適用する (着色剤：○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
オイルステイン塗りの工程等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	※ SD295	D 16以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	※ SD345	D 19以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
部 位	接 合 方 法	径 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○	○ 重ね継手	D 19以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 機械式継手	○ 溶接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 重ね継手	○ ガス圧接継手	D 16以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	○ 機械式継手	○ 溶接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 重ね継手	○ ガス圧接継手	D 16以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○ 機械式継手	○ 溶接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリートの種類	※ I類 ○ II類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
基礎	○ 24 ○	○ 18 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
上部	○ 24 ○	○ 18 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 軽量コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
打 設 部 位 (適用箇所)	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○ 21 ○	※ 21 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
予想平均気温 (°C)	補正值	期 間 (打 設 日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 10/31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8未満	5未満	N/mm ²		11/ 1 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ A種	※8.2.7(2)(7) ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ B種	※8.2.7(2)(4) ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ C種	※8.2.7(2)(4) ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	適 用 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ a種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ b種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ c種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
北 部 地 域	7月11日~8月31日	※ 6N/mm ² ○ 3N/mm ²																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
中 部 地 域	7月21日~8月31日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
南 部 地 域	7月1日~9月10日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類の記号	使 用 箇 所	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SS400		JIS G 3101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SM400A		JIS G 3106																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SM400A		JIS G 3136																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	<p>5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)</p> <p>6 溶接材料 (8.2.10)</p> <p>7 スカッド (8.2.11)</p> <p>8 工作図 (8.13.2)</p> <p>9 ボルト孔 (8.13.8)</p> <p>10 仮組</p> <p>11 技能資格者</p> <p>12 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)</p> <p>13 溶接部の試験 (8.15.12)</p> <p>14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)</p>	<p>15 耐火被覆 (8.18.2) ~ (8.18.9)</p> <p>16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)</p>	<p>1 グラウト材 (8.2.12)</p> <p>2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)</p>	<p>1 補強工法 (8.21.3)</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.21.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.21.3)</p> <p>4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)</p> <p>5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)</p> <p>6 既存構造体との取合い (8.21.9)</p> <p>7 仕上げ (8.21.10)</p>	<p>8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.21.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.21.3)</p> <p>4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)</p> <p>5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)</p> <p>6 既存構造体との取合い (8.21.9)</p> <p>7 仕上げ (8.21.10)</p>	<p>8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.22.3)</p> <p>4 既存構造体との取合い (8.22.7)</p> <p>5 仕上げ (8.22.9)</p>	<p>8-8 耐震補強工事(柱補強工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.23.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.23.3) (8.24.3)</p> <p>4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)</p> <p>5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)</p>

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項		
8-8	耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強工法 (8.2.13)(8.24.6)	工法 ○(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ○ 材料 ○炭素繊維 ○アラミド繊維 ○ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm ² ヤング係数 N/mm ² 製造所 製品名 柱及び梁の隅角の面取りの大きさ 炭素繊維シート ※20mm以上 ○ アラミド繊維シート ※10mm以上 ○ 仕上げモルタルの除去 ※構造体まで除去する ○モルタル除去は行わない ひび割れ部改修 ○コンクリート打放し仕上げ ※樹脂注入工法 ○モルタル塗り仕上げ ※樹脂注入工法 炭素繊維の目付量 ※図示による ○ 炭素繊維シートの巻数 ※図示による ○ 引張強度試験 ※行う 試験数量 () ○行わない 付着強度試験 ※行う 試験数量 () ○行わない	8-10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.26.13) ※ 図示による ○	8-12	耐震補強工事(基礎工事)	1 既存部分の処理等 (8.28.2) 既存杭の撤去等 ○撤去範囲及び方法 ○ 図示による () ○ ○杭頭部の処理 ○ 図示による () ○ ○既存杭の補強 ○ 図示による () ○ ○既存杭の健全性を確認する試験 ○ 図示による () ○	9	ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3)	種別 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 ○パネル式 ○メラミン樹脂又は ○スタッド式 ○アクリル樹脂焼付 ○スライド式 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
		7 仕上げ (8.23.7)(8.24.7) ※ 図示による ○	2 埋戻し及び盛土 (8.28.3) 埋戻し及び盛土の種類 ※改修標準仕様書8.28.1による ○A種適用箇所 () ○B種適用箇所 () ○C種適用箇所 ()土質 () 受変場所 () ○D種 (細粒分(75μm以下の含有率(重量百分率))の上限を50%未満とする) 適用箇所 () ○その他(材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための損失板等の抜き跡の処理 ○ 図示による () ○ 山留め壁等の存置箇所 (※ 図示 ())			4 移動間仕切 (20.2.4)			パネル操作法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作法 遮音性能 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ○ ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの あと施工アンカー 材質 寸法 引張耐力試験 ※行う				
8-9	耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ○耐火型 ○有り ○水平方向 ○せん断型部分スリット ○非耐火型 ○無し 品質・規格 既存仕上げの撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄筋の処理 ○はつり出し ○切断 ○存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ ○ 図示による ○ 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 ○使用する ○使用しない 適用箇所及び仕様 ○ 図示による ○ 遮音材の使用 ○使用する ○使用しない 適用箇所及び仕様 ○ 図示による ○ 既存部分の撤去の補修 ※ 図示による ○	8-11	耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 範囲 ※ 図示による ○ 方法 ※ 図示による ○ 既存鉄骨の処置方法	9	ユニット及びその他の工事	3 杭地業 (8.2.15)(8.28.4) 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ○ 図示による () ○ 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ○ 図示による () ○ ○杭の継手の箇所数、材料、工法等 ○ 図示による () ○ ○杭の溶接継手 技能資格者の技量 ○ 図示による () ○ 溶接部の確認 ○ 図示による () ○ ○杭頭の処理 ○ 処理する ○ 処理しない 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ○ 図示による () ○ ○杭頭の中詰め材料 ○基礎のコンクリートと同調合のもの ○ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ○ 径の1/4かつ100mm以下 ○ 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ○ 1/100以内 ○ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ○ 図示による () ○	5 トイレブース (20.2.5) 表面材 ○メラミン樹脂系化粧板 ○ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木型 ○ 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆ ドアエッジの材質 ※ トイレブース製造所の仕様による ○			
		2 既存部分の処理 (8.26.6) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。	4 砂利地業等 (8.2.15) 材料 ※再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石 砂利厚さ ○ 60mm ○ 砂地業 ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂			6 手すり (20.2.6) ○ SUS304(表面処理 ※ HL程度 ○) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※ (表14.2.2)による種別 () 種) ○ アルミニウム 表面処理 (※ (表14.2.1)による種別 () 種) 種別 () 種 () 色合等 ○ 標準色 () ○ 特注色 () 手すりの埋り部分 材 種 表面仕上げ 直径(mm) 取付場所 備 考 ○ 集成材 ○ クリアラッカー ○ 35程度 (材種:) ○ 45程度 ○ ビニル製 ○ 35程度 ○ 45程度							
8-10	耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.26.5) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-2による。	8-12	耐震補強工事(制振改修)	2 既存部分の処理 (8.27.3) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。	9	ユニット及びその他の工事	4 砂利地業 (8.2.15) 材料 ※再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石 砂利厚さ ○ 60mm ○ 砂地業 ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂	7 階段滑り止め (20.2.7) 材種 ○ ステンレス製 (SUS304) 幅 ○ 約35mm ○ 形状 ○ ビニルタイヤ入り 両端フット ○ あり (○ ビニル ○ SUS304) 取付工法 ※ 接着工法 ○ 埋込み工法				
		2 既存部分の処理 (8.26.6) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。			5 捨コンクリート地業 (8.28.4) 捨コンクリートの厚さ ※ 50mm ○			8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	区分 種類 色彩 備考 ○ 黒板 ※ 焼付け ○ 鋼製黒板 ※ 緑 ○ 曲面 ○ ほうろう黒板 ○ 黒 ○ スクリーン付引分け ○ ほうろう白板 ※ 白 ○ 曲面 ○ スクリーン付引分け 額縁金属 ○ アルミ製 (表面処理の種別 ○ B-2 ○ B-1) 品質・規格				
8-10	耐震補強工事(免震改修)	2 既存部分の処理 (8.26.6) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。	8-12	耐震補強工事(制振改修)	3 減衰材 (8.27.4)(8.27.6) 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 ※「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 ※以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に 縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチ の1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) ○ 図示による	9	ユニット及びその他の工事	5 捨コンクリート地業 (8.28.4) 捨コンクリートの厚さ ※ 50mm ○	9 鏡 (20.2.10) 厚さ(mm) ※ 5 ○				
		3 減衰材 (8.27.4)(8.27.6) 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 ※「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 ※以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に 縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチ の1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) ○ 図示による			1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及び「パーティクルボード」等の ホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 含まれる可塑剤 ※フタル酸エステル等を含有しない、難揮発性のもの ○			2 フリーアクセスフロア (20.2.2) ※建設技術評価制度「耐震型F1-F2」の認定を受けた製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐火性能 所定荷重 帯電防止 漏えい抵抗 (mm) 高さ(mm) 性能 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ○ 図示による コンセント等の取付け ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※対応品又は工場加工品(施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル ○あり(※固定式 ○可変式 施工箇所は図示) ※表面仕上げ材の品質、規模等は、標準19室内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 ○ 耐衝撃性能 ○ ローリングロード性能 ○ 耐燃焼性能 ○					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9 ユニット及びその他の工事	<p>10 表示・標識 (20.2.11)</p> <p>衝突防止表示 ※ 図示による (市販品 ○ ステンレス製 径 30mm ○ _____) ○ なし 法令に基づく表示 ※ 非常用出入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。</p> <p>室名札</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td></td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td></td> <td>○ 丸</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> </tr> </table> <p>外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 50×250 ○ 60×250 ○ 図示による</p> <p>ビクトグラフ (便所、車いす、階段等)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> <td></td> </tr> </table> <p>寸法 (mm) ○ 150×150 ○ 図示による</p> <p>案内板 (館内、各階、便所)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td></td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ アルミ板</td> <td></td> <td>○ 丸</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> </tr> </table> <p>外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 600×600 ○ 100×600 ○ 200×200 ○ 図示による</p> <p>館名板等 品質・規格 _____</p> <p>11 タラップ (20.2.12)</p> <p>材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリッパ止め加工 ※あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※ (表14.2.2) による種別 (※C種 ※__種))</p> <p>12 ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ヘッド・レームの材質</th> </tr> <tr> <td>○ 横形</td> <td>※ ギヤ式</td> <td>※ アルミ合金</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ コード式</td> <td></td> <td>○ 35</td> <td>○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 縦形</td> <td>※ 2本操作コード式</td> <td>○ アルミ</td> <td>○ 80</td> <td>※ アルミ</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 1本操作コード式</td> <td>○ アルミ</td> <td>○ 100</td> <td>○ 合金製</td> </tr> </table> <p>(20.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>○ スプリング式</td> <td>○ ガラス繊維製</td> <td>※ 製造所の仕様</td> <td>○ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ コード式</td> <td>○ 合成・天然繊維製</td> <td></td> <td>○ _____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 電動式</td> <td>○ 木製</td> <td></td> <td>○ _____</td> <td></td> </tr> </table> <p>13 ロールスクリーン (20.2.15)</p> <p>(20.2.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形 式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きれ地の つみみ 用片 フレック</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>消防法で定める防火性能の表示があるもの</p> <p>15 カーテンレール (20.2.16)</p> <p>材料 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ○ ステンレス ○ _____ 形式 ○ 片引き ○ 引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 ○ C型 ○ D型 ※ 角型 強さによる区分 ※ 10-90 ○ _____ 仕上げ ※ アルマイト ○ _____</p> <p>16 ブラインドボックス カーテンボックス</p> <p>○ 図示による ○ 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) ○ 90×150 ○ 150×80 ○ 120×80 ○ _____ 表面処理 ○ C-1 (無着色) ○ C-2 (着色)</p> <p>17 くつふきマット</p> <p>材質 ○ 塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) ○ 硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ○ ○ ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)</p> <p>18 鋼製書架及び棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規 格 等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>○ 鋼製書架</td> <td>※ JIS S 1039 の規格による</td> <td>○ 1種 ○ 2種 ○ 3種</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製物品棚</td> <td>○ 法務省型</td> <td>○ 4種 ○ 5種 ○ 6種</td> </tr> </table> <p>19 収納家具(木製)</p> <p>材質、形状、寸法 ※ 図示による ※ _____ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ※ _____</p>	厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型	○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型	厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考	○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型		○	○ アルミ板	○	○ 持出型		厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型	○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型	形式	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ヘッド・レームの材質	○ 横形	※ ギヤ式	※ アルミ合金	※ 25	※ 鋼製	○	○ コード式		○ 35	○ _____	○ 縦形	※ 2本操作コード式	○ アルミ	○ 80	※ アルミ	○	○ 1本操作コード式	○ アルミ	○ 100	○ 合金製	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	○ スプリング式	○ ガラス繊維製	※ 製造所の仕様	○ 図示による		○ コード式	○ 合成・天然繊維製		○ _____		○ 電動式	○ 木製		○ _____		取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の つみみ 用片 フレック	ひだの種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種類	規 格 等	JISによる種類	○ 鋼製書架	※ JIS S 1039 の規格による	○ 1種 ○ 2種 ○ 3種	○ 鋼製物品棚	○ 法務省型	○ 4種 ○ 5種 ○ 6種	<p>9 ユニット及びその他の工事</p> <p>20 掲示板</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>表面の材質</th> <th>照明器具</th> <th>施設</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>○ 屋内</td> <td>○ 762×1141mm製 (B-2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 屋外</td> <td>○ 762×1141mm製 (B-2)</td> <td>押しピンタイプ</td> <td>○ あり ○ あり</td> <td>900W×600H</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td></td> <td>○ なし なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>21 カウンター</p> <p>材 種 ○メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集成材) ○人工大理石 (品質 図示) 奥行き (mm) ○約450 ○約600 ○ _____</p> <p>22 洗面カウンター</p> <p>23 流し台ユニット</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部品寸法 (mm)</th> <th>規 格</th> <th>仕 様</th> </tr> <tr> <td>○ 流し台</td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>○ コンロ台</td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>○ 吊戸棚</td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> <td>高さ 約500 mm</td> </tr> <tr> <td>○ 水切り棚</td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> <td>ステンレス製 1 段式</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>24 非常用救助袋等</p> <p>※ 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとする。 形式 ○ 傾斜式 ○ 垂直式 品質・規格 _____</p> <p>25 鍵箱</p> <p>市販品 形式 ※ 釣下式 ○ 差込式 (○ 30 ○ 60 ○ 120 ○ _____) 組用 (____) 個</p> <p>26 車止め</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 上下式鎮内蔵型</td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td>○ φ76.3 t=2.0</td> <td>○ GL+700</td> </tr> <tr> <td>(○ スプリング付き)</td> <td>○</td> <td>○ φ114.3 t=2.5</td> <td>○ GL+850</td> </tr> </table> <p>基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度</p> <p>27 フェンス</p> <table border="1"> <tr> <th>表 面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>● 亜鉛めっき ○ 樹脂塗装</td> <td>○ ガラスフェンス ○ 鉄板フェンス</td> <td>○ 片開き</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル被覆 ● 遮音板</td> <td>● ネットフェンス ● 防音フェンス</td> <td>● 両開き</td> </tr> </table> <p>参考: 朝日スター工業 目隠しフェンス (GM-2860-GG) 同等品</p> <p>28 防煙垂れ壁</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 固定式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 網入り磨き板ガラス</td> <td>※ 6.8</td> <td>※ 500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>○ 網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可動式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※ 不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※ 500 ○ 800 ○</td> <td>ガイドレール ※ 固定式 (壁押込型) ○ 可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>※ 回転降下式</td> <td>鋼板制又はアルミ製</td> <td>※ 500 ○ 800 ○</td> <td>表面仕上げ ※ 天井材張り ○</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p> <p>29 駐輪場</p> <p>アルミ製サイクルポート、ポリカーボネート600N/m²専用サイクルストッパー 四国化成工業「VFC-P2 131×2基」及び同等品</p> <p>30 既存床面改修工事</p> <p>サンダー掛け ウレタン塗装 3 回塗 バスケットボールコート 書き替え バレーボールコート 書き替え バトミントンコート 書き替え</p>	種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施設	品質・規格	○ 屋内	○ 762×1141mm製 (B-2)						○ ステンレス製 (SUS304)					○ 屋外	○ 762×1141mm製 (B-2)	押しピンタイプ	○ あり ○ あり	900W×600H			○ ステンレス製 (SUS304)		○ なし なし			種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様	○ 流し台		○ 優良住宅部品	トラップ付き	○ コンロ台		○ 優良住宅部品	バックガード有り	○ 吊戸棚		○ 優良住宅部品	高さ 約500 mm	○ 水切り棚		○ 優良住宅部品	ステンレス製 1 段式	○				形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	○ 上下式鎮内蔵型	○ ステンレス製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ GL+700	(○ スプリング付き)	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850	表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	● 亜鉛めっき ○ 樹脂塗装	○ ガラスフェンス ○ 鉄板フェンス	○ 片開き	○ ビニル被覆 ● 遮音板	● ネットフェンス ● 防音フェンス	● 両開き	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考	○ 固定式				○ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	○ 網入り磨き板ガラス				○ 可動式				※ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ※ 固定式 (壁押込型) ○ 可動式 (天井収納型)	※ 回転降下式	鋼板制又はアルミ製	※ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ※ 天井材張り ○	<p>10 排水工事</p> <p>3 緑石 (21.3.1)</p> <p>歩車道境界ブロックのJISによる呼び名 ※ A ○ _____ 地先境界ブロックのJISによる呼び名 ○ A ○ C ○ _____ 砂利地業の厚さ ※ 100mm ○ _____</p> <p>4 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)</p> <p>鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ 鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 240 ○ 300A ○ 360A ○ _____ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²) ※ 1.8 ○ _____ スランプ (cm) ○ 1.5 ○ 1.8 ○ _____</p> <p>現場打の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ○ _____</p> <p>11 舗装工事</p> <p>1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)</p> <p>路床の構成 ○ 凍上抑制層 厚さ ○ 図示による ○ _____ ○ 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 ○ 図示による ○ 150mm ○ _____ 歩道部 ○ 図示による ○ 50mm ○ _____ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ○ 行う ○ 行わない 盛土に用いる材料 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1) 路床安定処理 ○ 行う ○ 行わない (表22.2.1) 路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 種 類 ○ 地盤改良材 (○ 高炉セメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号 添加量 _____ kg/m³ 路床土の支持力比(CBR)試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土) 路床締固めの試験 ※ 行う (埋戻し部、盛土部) ○ 行わない</p> <p>2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)</p> <p>路盤の厚さ _____ 150 mm 材料 ● 再生クラッシュラン (R0-40, 30, 20) ○ クラッシュラン (C-40, 30, 20) ○ クラッシュ鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤締固めの試験 ※ 行う</p> <p>3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗 装 の 種 類</th> <th>表層 (mm)</th> <th>基層 (mm)</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※ アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td>※ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> </table> <p>アスファルト ○ 再生アスファルト (○ 60~80 ○ 80~100) ○ ストレートアスファルト</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>○ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> </table> <p>施工 アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ○ 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>適用荷重</th> <th>タイプ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○ 溝ふた用</td> <td>○ 鋼製</td> <td>受枠 ※ なし</td> <td>○ 歩行用</td> <td>○ 普通目</td> <td>○ 平形</td> </tr> <tr> <td>○ 溝ふた用</td> <td>○ ステンレス製</td> <td>○ あり</td> <td>○ T-2用</td> <td>※ 細目</td> <td>○ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>○ 溝上げ用</td> <td>○ 鋼製</td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-6用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ U字溝用</td> <td>○ 樹脂製</td> <td>ボルト固定 ※ なし</td> <td>○ T-14用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-20用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構成 コンクリートの種類 部 位 厚さ (mm) 設計基準強度 (N/m²) スランプ (cm) 普通ポルトランドセメント 土間 150 21 15</p> <p>早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する 目地 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ 種類 ○ 突合せ目地 ● 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ _____ 間隔 ● 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ○ 3m程度ごと ○ _____ コンクリート版厚さの試験 ※ 行う</p>	舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類	※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物	区分	一般地域	寒冷地域	表層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)		○ 細粒度アスファルト混合物 (13)		種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状	○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠 ※ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形	○ 溝ふた用	○ ステンレス製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形	○ 溝上げ用	○ 鋼製	○ 図示	○ T-6用			○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※ なし	○ T-14用					○ 図示	○ T-20用			<p>11 舗装工事</p> <p>5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系アスファルト混合物</td> <td>○ 車路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石</td> <td>○ 歩行者用通路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>舗装の厚さ _____ mm</p> <p>○ 常温系ニート工法 ○ 常温系塗布工法</p> <p>着色部の下部 舗装の平坦性 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)</p> <p>舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____ 表層の厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない</p> <p>7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>○ 普通平板 (N)</td> <td>○ カラー平板 (C)</td> <td>○ 300角</td> <td>※ 60 ※ 砂</td> </tr> <tr> <td>○ 洗出平板 (W)</td> <td>○ 凝石 (S)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>品質・規格 クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>○ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単位重量 (N/m²)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック</td> <td>車路</td> <td></td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 京エッジ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック</td> <td>歩行者用通路</td> <td></td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td></td> <td></td> <td>○ 80</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 クッション材 ※ 砂</p> <p>○ 鋪石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>基 層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 花崗岩</td> <td></td> <td>○ 80~100</td> <td>○ うろこ張り</td> <td>○ コンクリート版</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○ アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>品質・規格 クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>8 砂利敷き (22.9.2)</p> <p>通 路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする</p> <p>9 白線引き</p> <p>種 類 ○ 溶融式 ● ペイント式 幅 (cm) ● 15 ○ _____</p>	種 類	部 位	配合その他	※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車路		添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路		結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)			アスファルト混合物等の抽出試験			○ 適用する ※ 適用しない			種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地	○ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60 ※ 砂	○ 洗出平板 (W)	○ 凝石 (S)	○	○	種 類	部 位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	単位重量 (N/m ²)	色彩及び表面加工等	※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品	○ 京エッジ			○			○ 透水性ブロック	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○	○ 植生ブロック			○ 80	○	○				※ 80						○ 100			種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)	○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70	○		○	○		○	○		○	○		○ アスファルト混合物						※ 50						○	<p>12 環境配慮改修工事</p> <p>1 一般事項 (9.1.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石綿含有吹付け材除去工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 除去工法 (湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法) ○ 封じ込め工法 () ○ 囲い込み工法 () ○ 石綿含有保温材除去工事 ○ 石綿含有成形板等除去工事 ○ 石綿含有仕上塗材除去工事 ※ 石綿含有建築仕上塗材・下地調整材劣化部除去工事 <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示による ○ _____</p> <p>2 仕上げ工事 (9.1.1)</p>
厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○	○ アルミ板	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
形式	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ヘッド・レームの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 横形	※ ギヤ式	※ アルミ合金	※ 25	※ 鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○ コード式		○ 35	○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 縦形	※ 2本操作コード式	○ アルミ	○ 80	※ アルミ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○ 1本操作コード式	○ アルミ	○ 100	○ 合金製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ スプリング式	○ ガラス繊維製	※ 製造所の仕様	○ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ コード式	○ 合成・天然繊維製		○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 電動式	○ 木製		○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の つみみ 用片 フレック	ひだの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	規 格 等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○ 鋼製書架	※ JIS S 1039 の規格による	○ 1種 ○ 2種 ○ 3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○ 鋼製物品棚	○ 法務省型	○ 4種 ○ 5種 ○ 6種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施設	品質・規格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 屋内	○ 762×1141mm製 (B-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	○ ステンレス製 (SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 屋外	○ 762×1141mm製 (B-2)	押しピンタイプ	○ あり ○ あり	900W×600H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ ステンレス製 (SUS304)		○ なし なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 流し台		○ 優良住宅部品	トラップ付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ コンロ台		○ 優良住宅部品	バックガード有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 吊戸棚		○ 優良住宅部品	高さ 約500 mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 水切り棚		○ 優良住宅部品	ステンレス製 1 段式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 上下式鎮内蔵型	○ ステンレス製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ GL+700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(○ スプリング付き)	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
● 亜鉛めっき ○ 樹脂塗装	○ ガラスフェンス ○ 鉄板フェンス	○ 片開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○ ビニル被覆 ● 遮音板	● ネットフェンス ● 防音フェンス	● 両開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	材 質	高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 固定式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 網入り磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 可動式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ○ 800 ○	ガイドレール ※ 固定式 (壁押込型) ○ 可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ 回転降下式	鋼板制又はアルミ製	※ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ※ 天井材張り ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	一般地域	寒冷地域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表層	○ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	○ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠 ※ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 溝ふた用	○ ステンレス製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 溝上げ用	○ 鋼製	○ 図示	○ T-6用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※ なし	○ T-14用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		○ 図示	○ T-20用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	部 位	配合その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
アスファルト混合物等の抽出試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60 ※ 砂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 洗出平板 (W)	○ 凝石 (S)	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	部 位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	単位重量 (N/m ²)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 京エッジ			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 透水性ブロック	歩行者用通路		※ 60	※ 3.0	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 植生ブロック			○ 80	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			※ 80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			○ 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 花崗岩		○ 80~100	○ うろこ張り	○ コンクリート版	※ 70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○		○	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○		○	○		○ アスファルト混合物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
					※ 50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

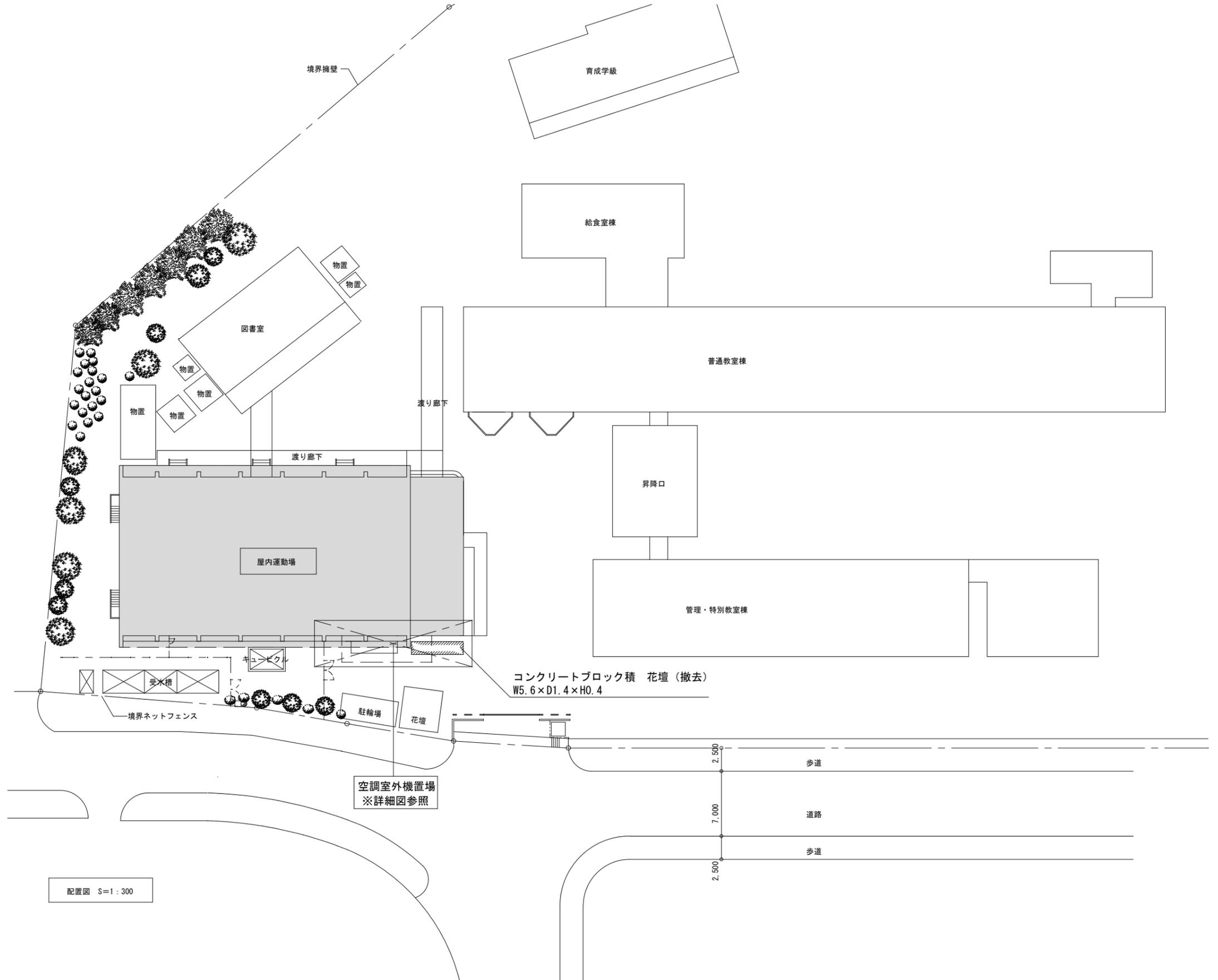
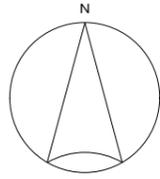
特記仕様	<p>株式会社 木下建築設計事務所</p> <p>611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 細野 幹生</p> <p>TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080</p>	<p>製図年月日 2025.4</p> <p>訂正年月日</p> <p>監修 設計 製図</p>	<p>工事名称 御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書-10</p>	<p>縮尺</p>	<p>図面番号 No A-10 号図</p>
------	---	--	--	-----------	------------------------



付近見取図 S = 1 : 1500

工事場所 御蔵山小学校
宇治市木幡御蔵山39番地の4

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 2025.4	工事名称 御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事 図面名称 付近見取図	縮尺	図面番号 No. A-11 号図
		訂正年月日			



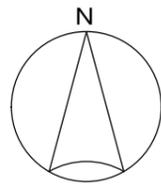
特記仕様


株式会社 木下建築設計事務所
 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生

製図年月日	2025.4
訂正年月日	
監修	
設計	
製図	

工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名称	改修 配置図

縮尺	1/300	図面番号	No A-12 号図
			枚ノ内

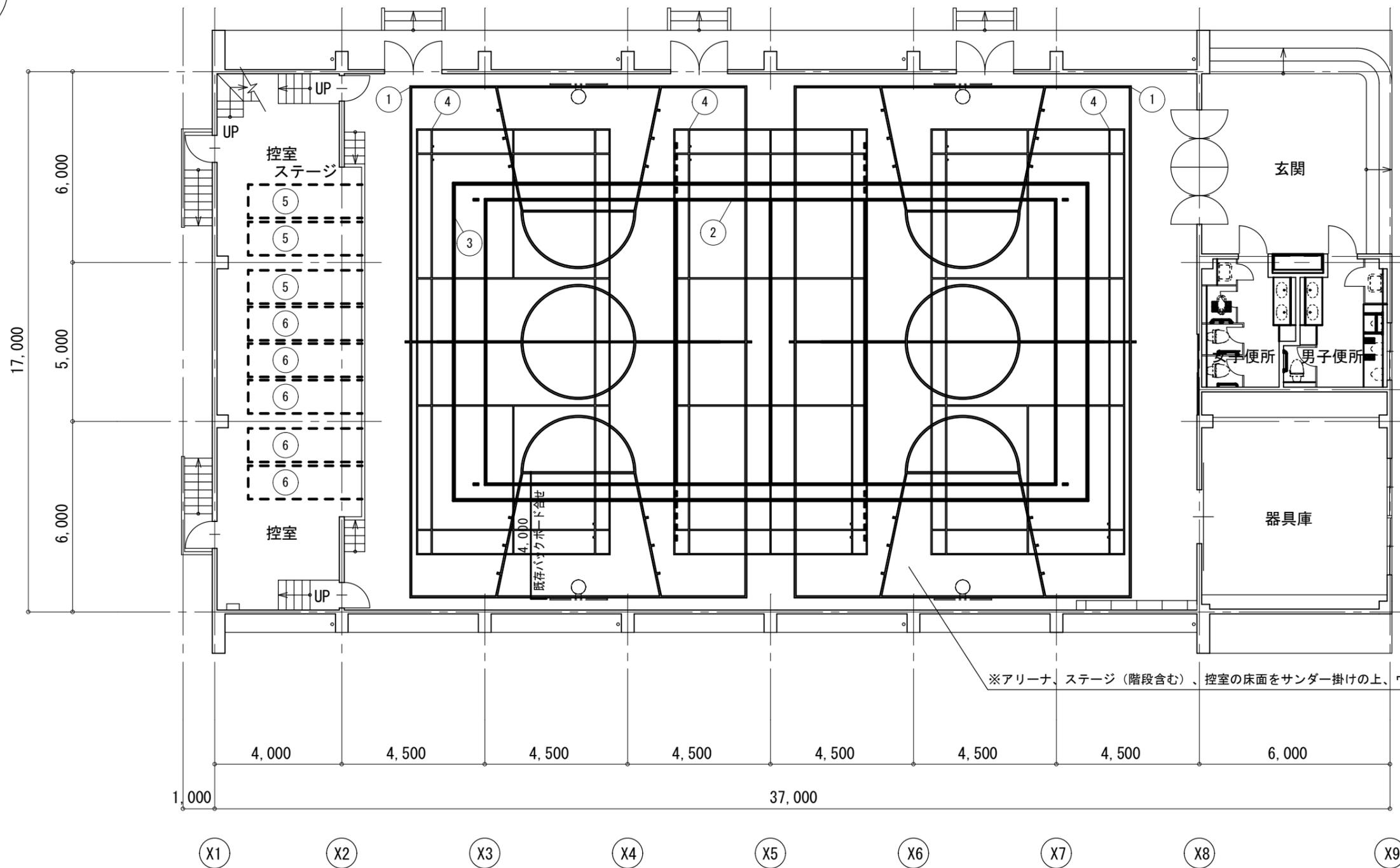


Y4

Y3

Y2

Y1



体育器具工事一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
1	SL212	2面	ミニバスケットボールコート (16,000×10,500) 全線(フリースローラインは既存バックボード合せ)		50mm	
2	SL213	1面	一般6人制バレーコート 18,000×9,000 全線		50mm	
3	SL214	1面	一般9人制バレーコート 20,000×10,000 全線		50mm	
4	SL215	3面	バドミントンコート 13,400×6,100 全線		40mm	

NO	品番	数量	品名 / 仕様
5	SS708	3台	万能台車(椅子用) キャスター浮上式 L=3,500
6	SS708	5台	万能台車(机・備品用) キャスター浮上式 L=3,500

※優先順位・ライン色は、打合せ等により決定のこと
 ※各コートライン配置位置等は全て参考図示とする
 ※各コートライン位置は既存バスケットゴール、既存床家具合せとすること
 ※ミニバスケットボールコート寸法は参考とする。既存バスケット台状況等確認後、最終決定とする

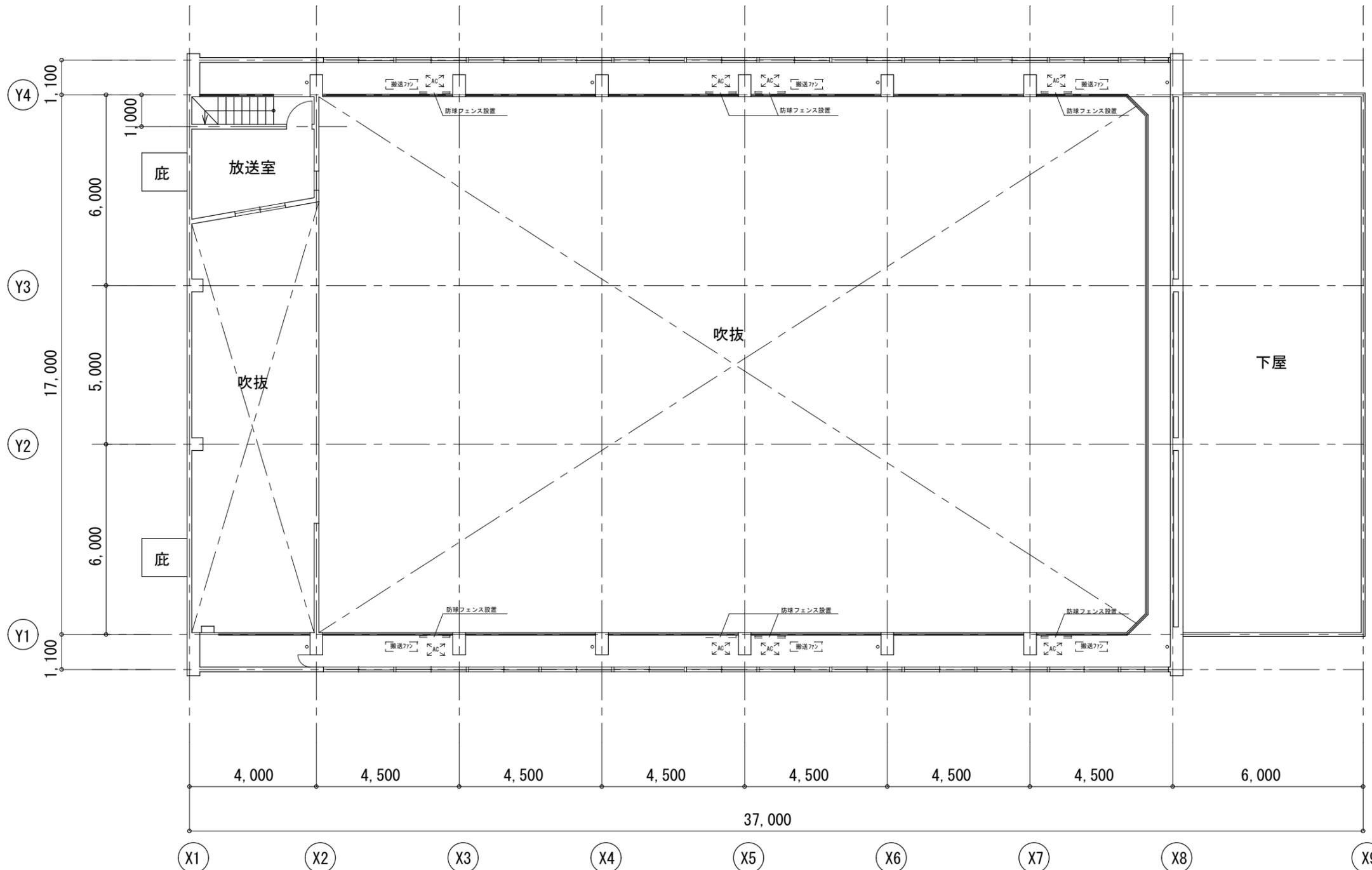
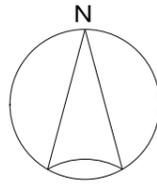
特記仕様

株式会社 木下建築設計事務所

〒600-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生

製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
訂正年月日		図面名称	改修 1階平面図
監修			
設計			
製図			

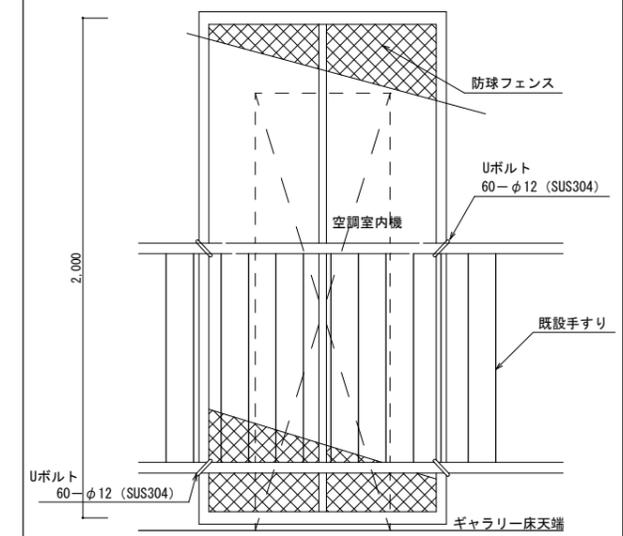
縮尺	
図面番号	No. A-13 号図
枚ノ内	



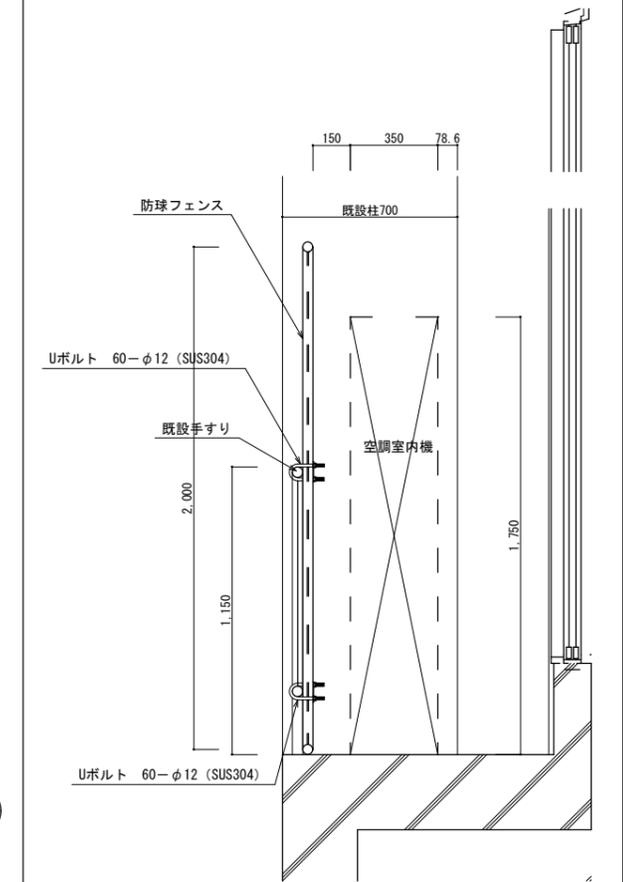
2階 平面図 S=1:100

凡例

- AC : 空調室内機の設置予定位置を示す
 ※詳細は機械設備図参照
 - 搬送ファン : IA-搬送ファンの設置予定位置を示す
 ※詳細は機械設備図参照
- 室内機など設置に係るアンカー工事前には鉄筋探査を実施する。



防球フェンス 正面図 S:1/20



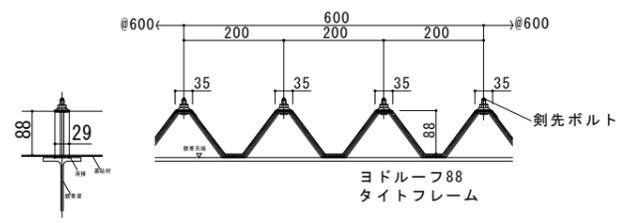
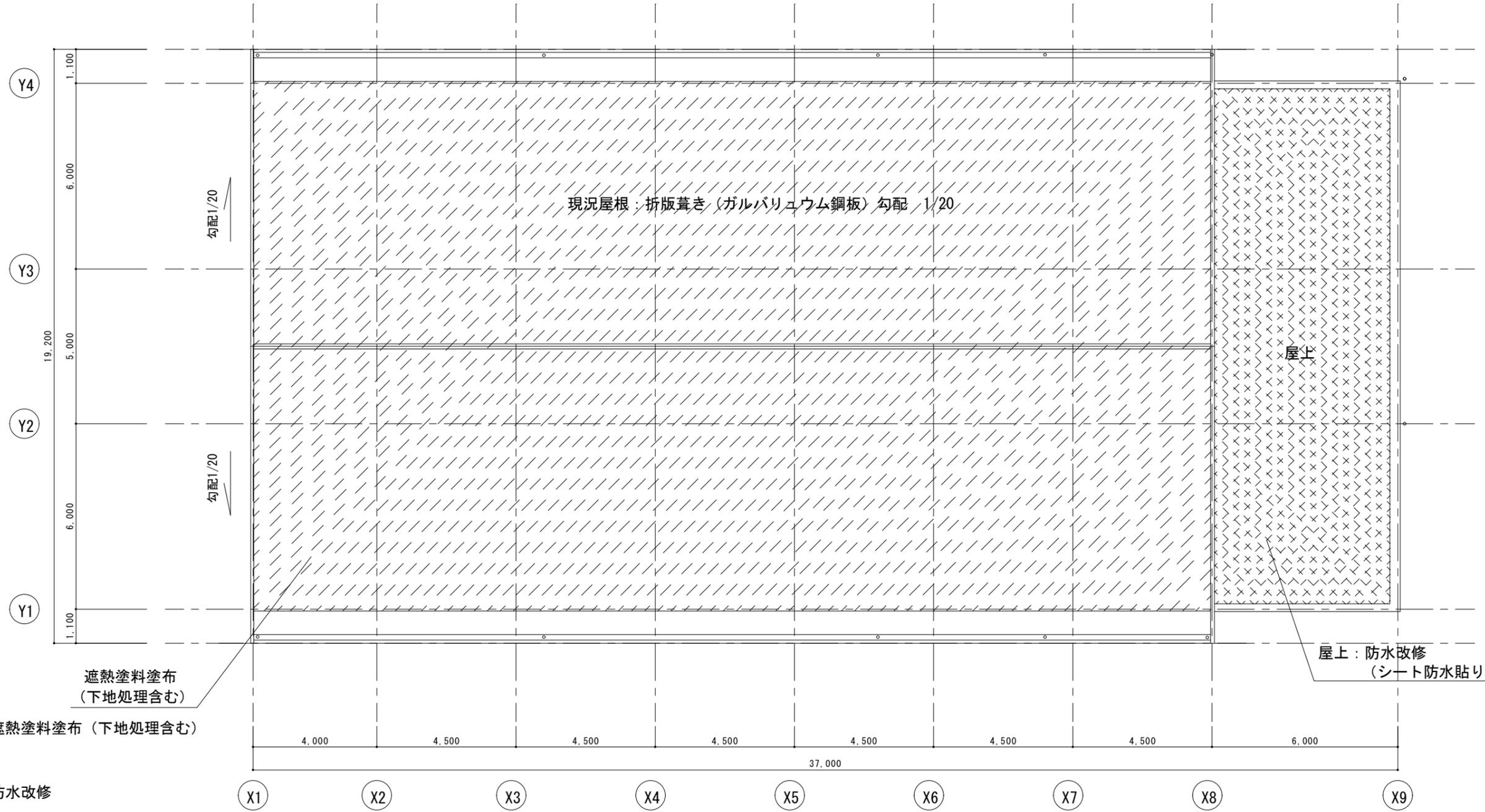
防球フェンス 断面図 S:1/20

特記仕様	

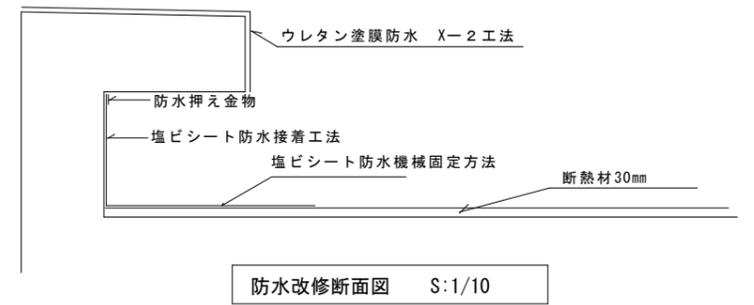
株式会社 木下建築設計事務所
 〒611-0026 京都府宇治市開町37-10
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080
 一級建築士登録 第125477号
細野 幹生

製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
訂正年月日		図面名称	改修 2階平面図
監修	設計	製図	

縮尺	1/100, 1/20	図面番号	No. A-14 号図
枚数		枚数	枚/内



屋根伏図 S = 1 : 100



特記仕様

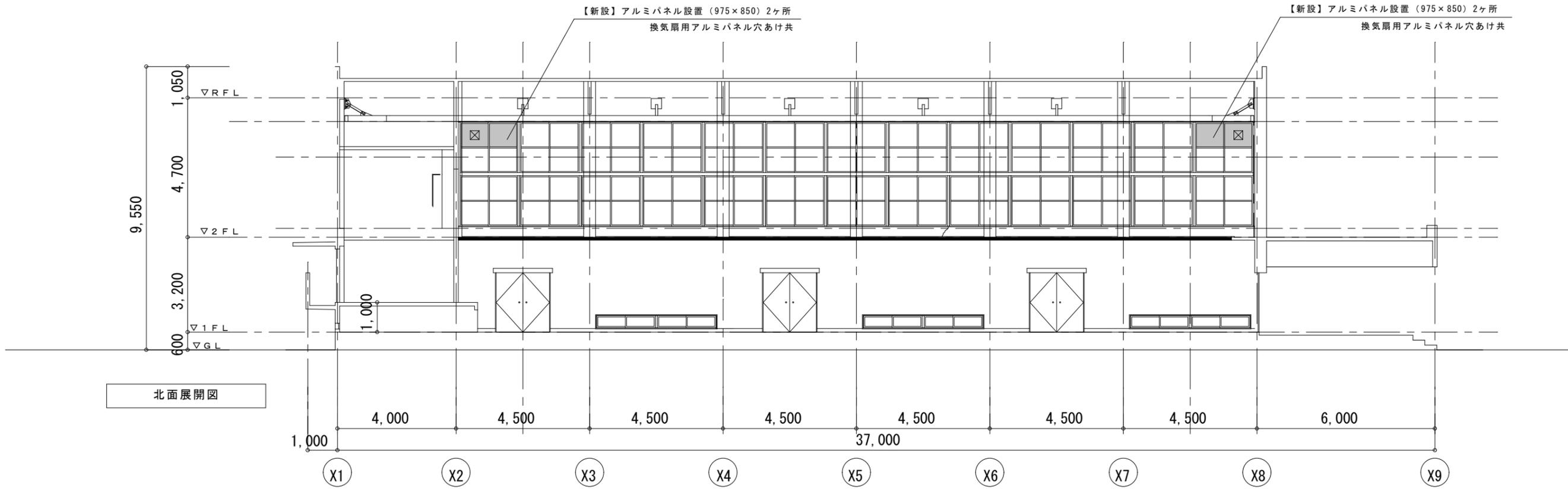
株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

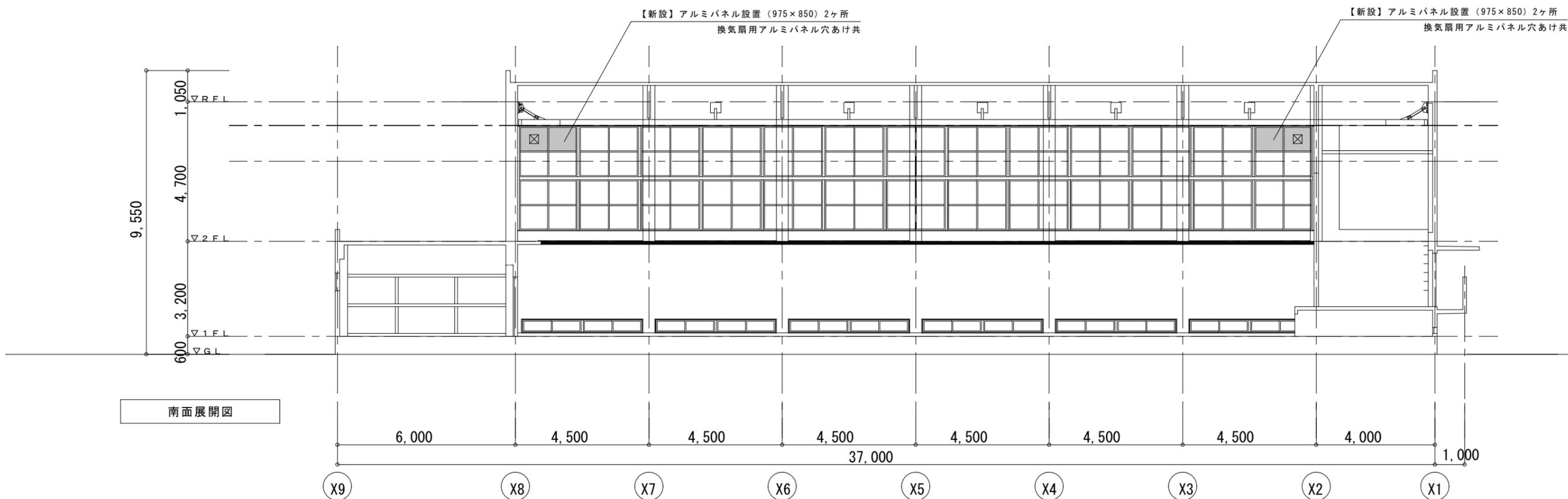
製図年月日	2025.4
訂正年月日	
監修	設計
製図	

工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名称	改修 屋根伏図

縮尺	1/100、1/10	図面番号	No A-15 号図
			枚ノ内



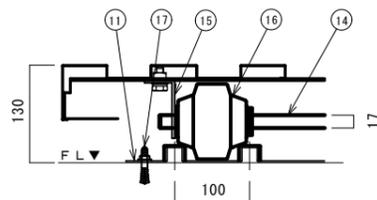
北面展開図



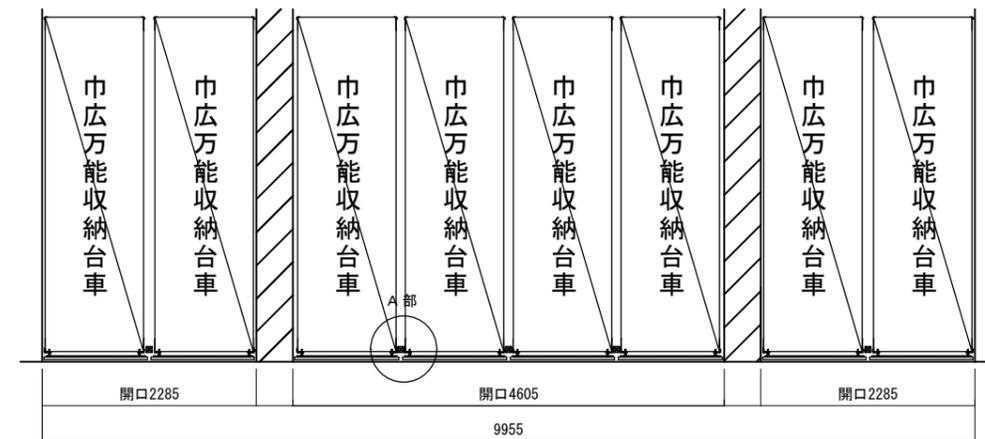
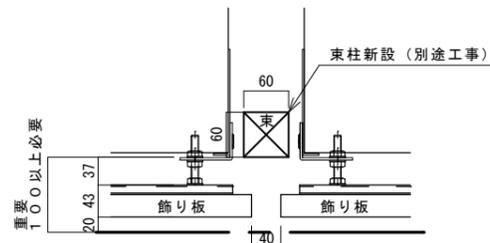
南面展開図

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 2025.4 訂正年月日 監修 設計 製図	工事名称 御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事 図面名称 改修 展開図	縮尺 1/100 枚数 枚/内	図面番号 No. A-16 号図

車輪部詳細 (S=1/5)

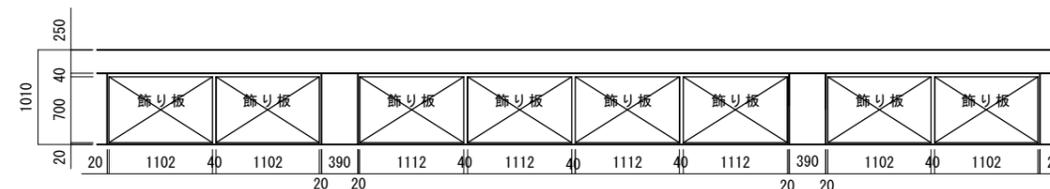


A部詳細図 (S=1/5)

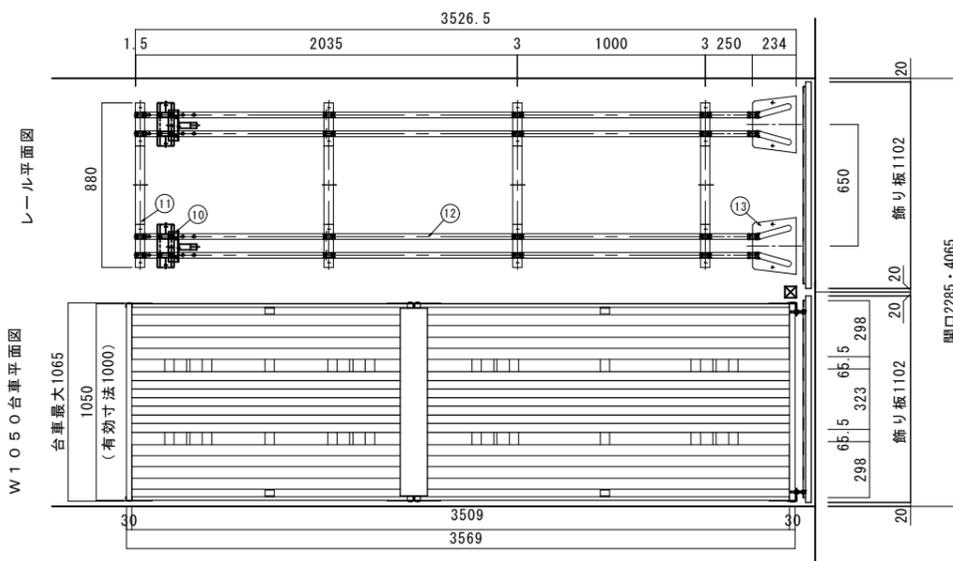


台車収納時平面配置図 (S=1/40)

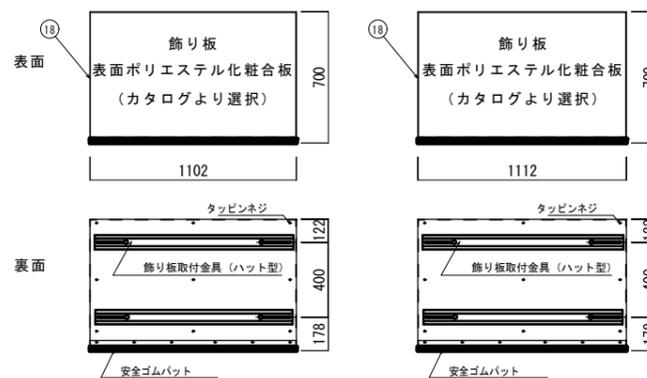
ステージ正面図 (S=1/40)



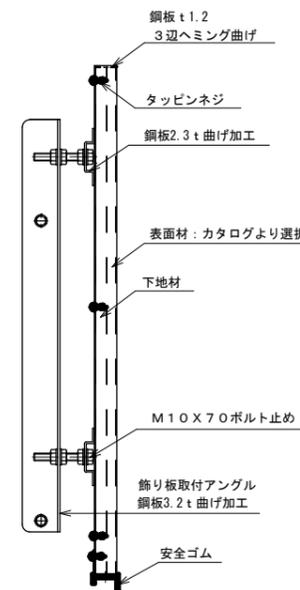
巾広万能収納台車 (S=1/20)



飾り板詳細図 (S=1/20)



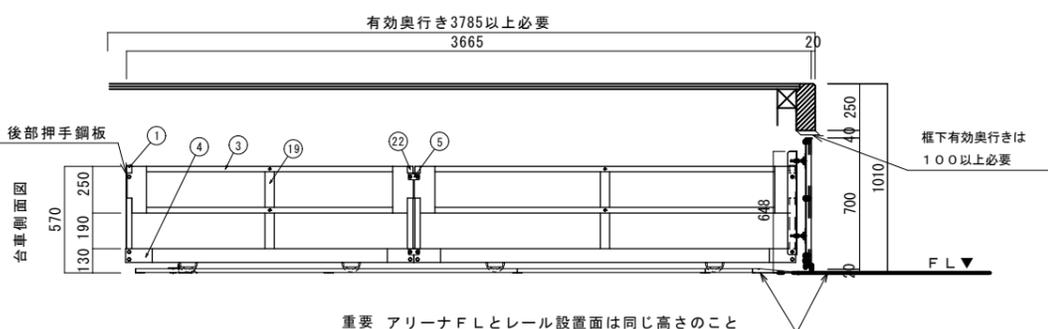
飾り板断面図 (S=1/5)



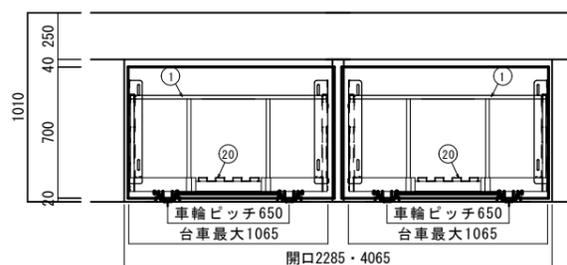
仕様

- MTトラック 巾広万能収納台車 8ビット8台
寸法 W1050×L3500×H570
※極低頭ボルト使用
- 飾り板 8ビット8枚 (表面材はカタログより選択)
- レール下地 (モルタル金ゴテ仕上げ) は別途工事

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押手	角鋼管 30×20×1.6	シルバー
2			
3	サイド棒	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結PLT1	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8			
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪付ベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車輪	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面ポリエステル化粧合板 (カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付
19	サイド枠倒れ止	鋼材 4.5t	亜鉛メッキ
20	中床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
21	連結PLT2	鋼板 2.3t	黒色焼付
22	パイプ	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ



台車正面図 (S=1/20)



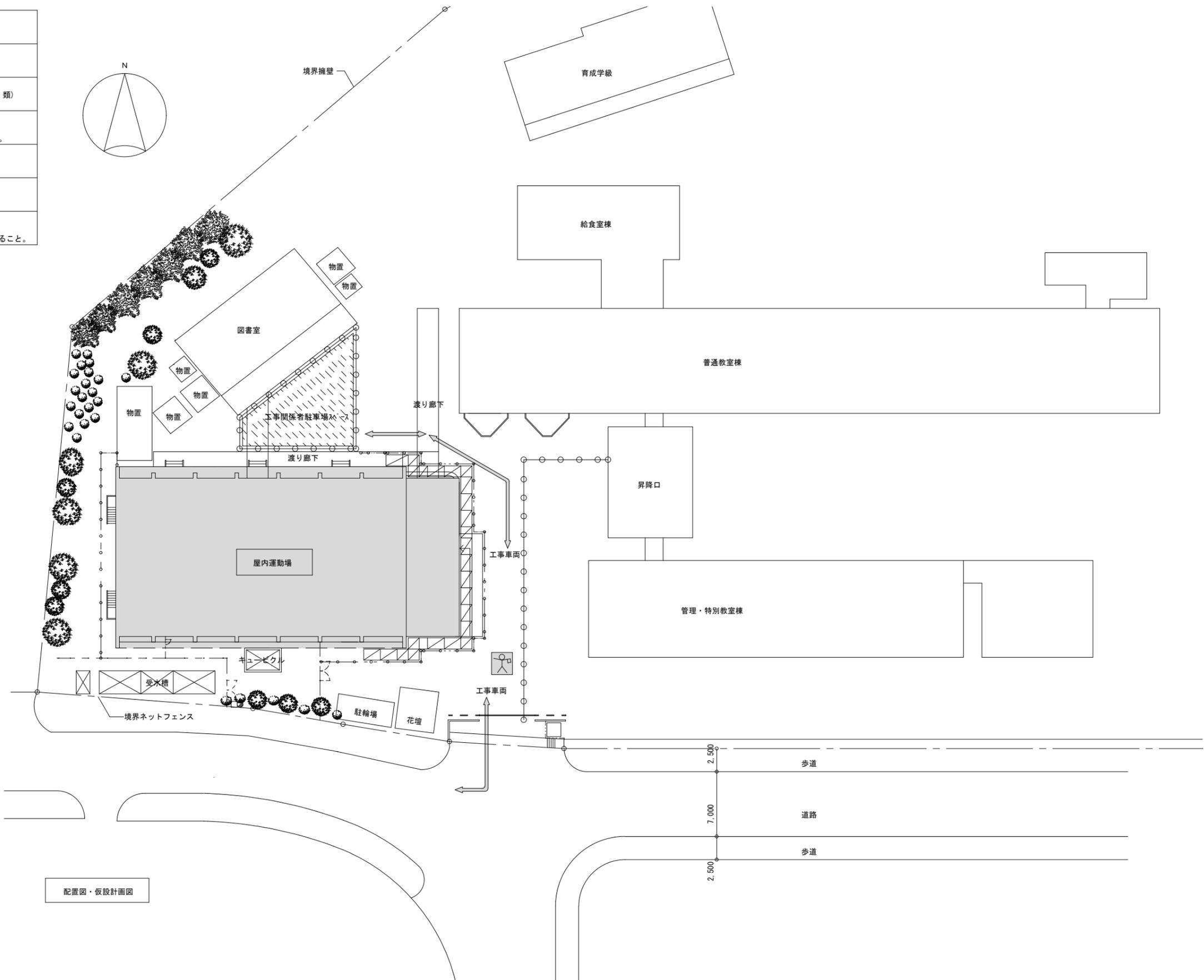
特記仕様

株式会社 木下建築設計事務所
 〒611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日 2025.4
 訂正年月日
 監修 設計 製図
 工事名称 御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
 図面名称 新設台車収納詳細図

縮尺
 図面番号 A-17

*仮設計画の凡例、及び特記事項	
	工事車輛搬入出経路
	外部枠組本足場 W1200(2ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)
	仮囲 カラーコーン+パー 施工状況及び施工位置に合わせて、 学校利用者の安全が確保できる位置に配置すること。
	仮囲 フェンスバリケード H 1800 下部幅木板設置
	工事関係者駐車場スペース
	交通整理員 常駐：1名 他：随時1名 他1名は施工状況及び施工位置に合わせて、 学校利用者の安全が確保できる位置に配置すること。



配置図・仮設計画面

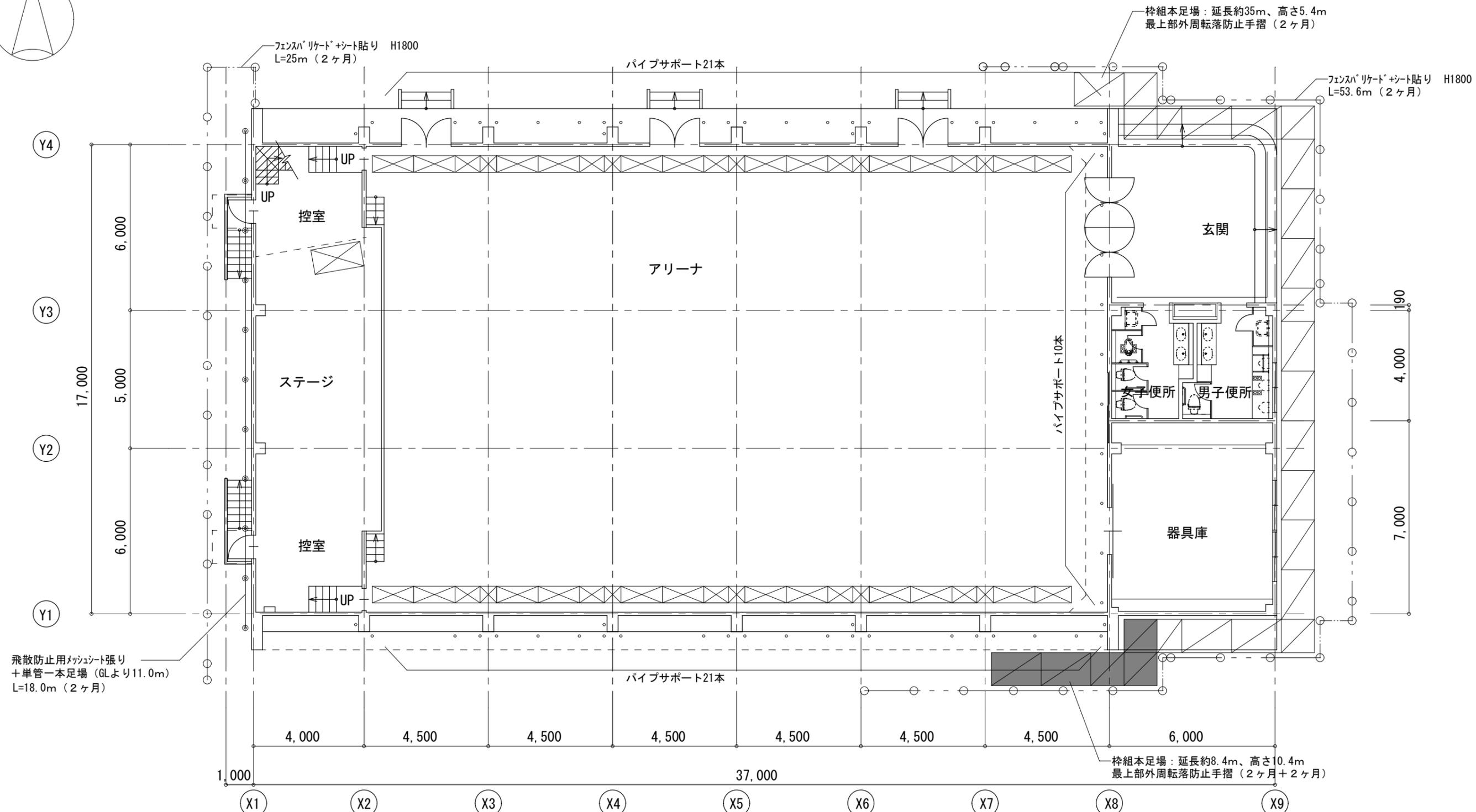
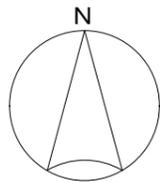
特記仕様


株式会社 木下建築設計事務所
 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生

製図年月日	2025.4
訂正年月日	
監修	
設計	
製図	

工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名称	仮設計画 配置図(参考図)

縮尺	1/300	図面番号	No A-19 号図
			枚ノ内



1階 平面図 S=1:100

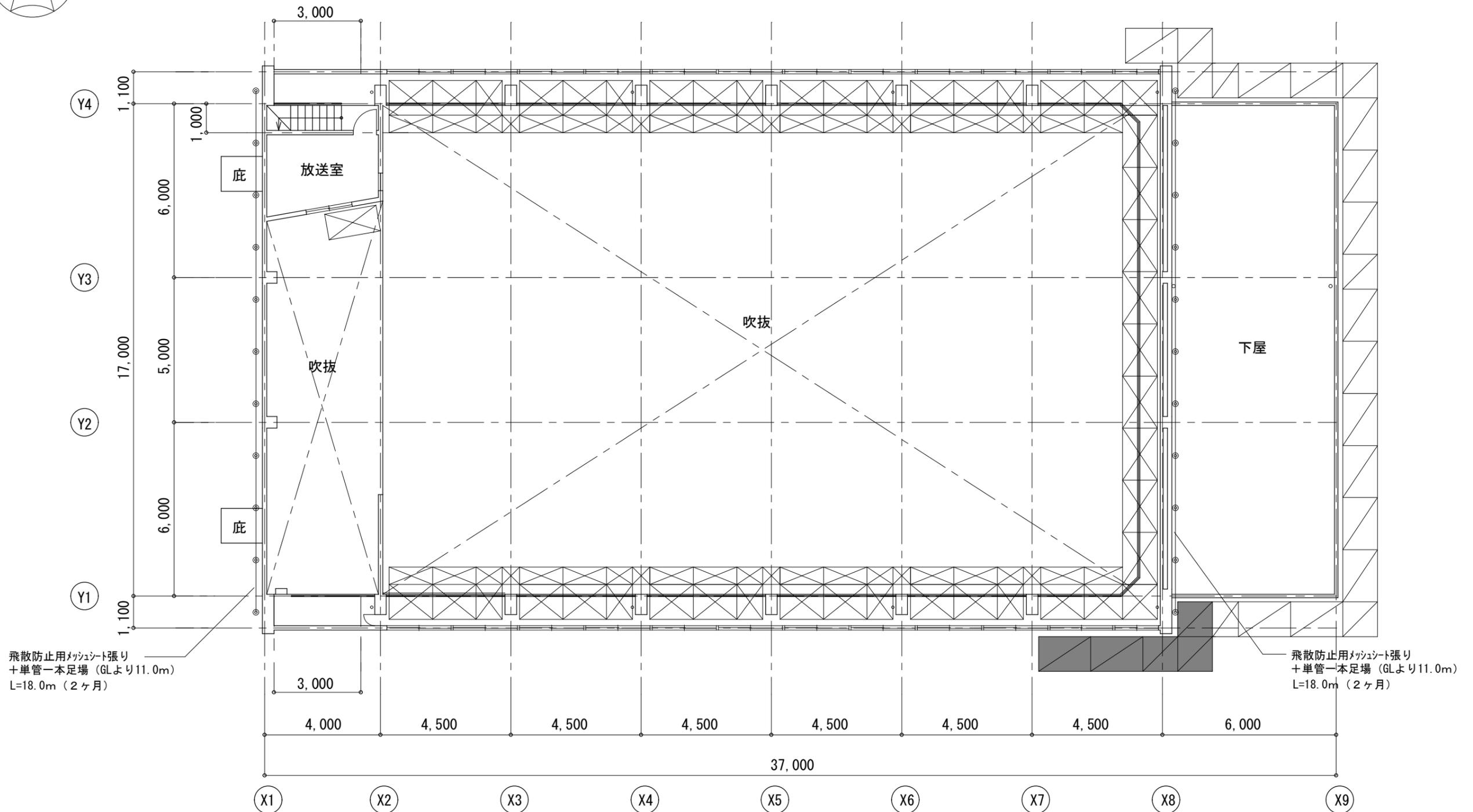
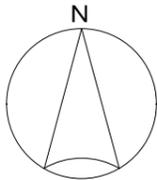
凡例	外部枠組本足場 W1200(2ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)	内部枠組本足場 H=8.000程度 (2ヶ月+4ヶ月=6ヶ月)
	外部枠組本足場 W1200(2ヶ月+2ヶ月=4ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)	※内部足場設置範囲には床養生する。 (ビニルシートの上、合板厚12mm)

特記仕様	

株式会社 木下建築設計事務所

〒611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事	縮尺	1/100	図面番号	No A-20 号図
訂正年月日		図面名称	仮設計画 1階平面図(参考図)				
監修		設計					枚/内
製図							



2階 平面図 S=1:100

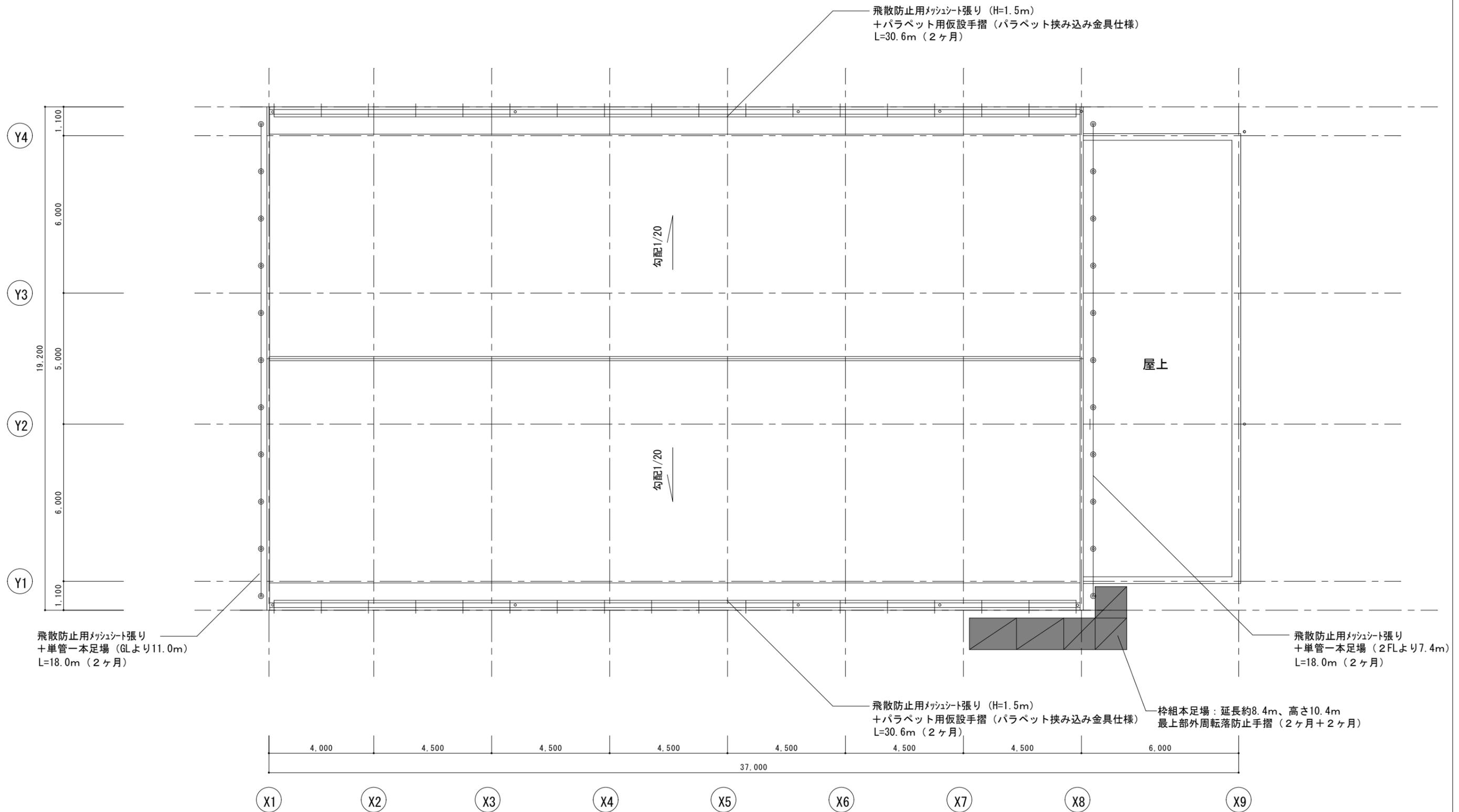
凡例	外部枠組本足場 W1200(2ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)	内部枠組棚足場 H=8.000程度 (2ヶ月+4ヶ月=6ヶ月)
	外部枠組本足場 W1200(2ヶ月+2ヶ月=4ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)	※内部足場設置範囲には床養生する。 (ビニルシートの上、合板厚12mm)

特記仕様	


株式会社 木下建築設計事務所
 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生

製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
訂正年月日		図面名称	仮設計画 2階平面図(参考図)
監修			
設計			
製図			

縮尺	1/100	図面番号	No. A-21 号図
			枚ノ内



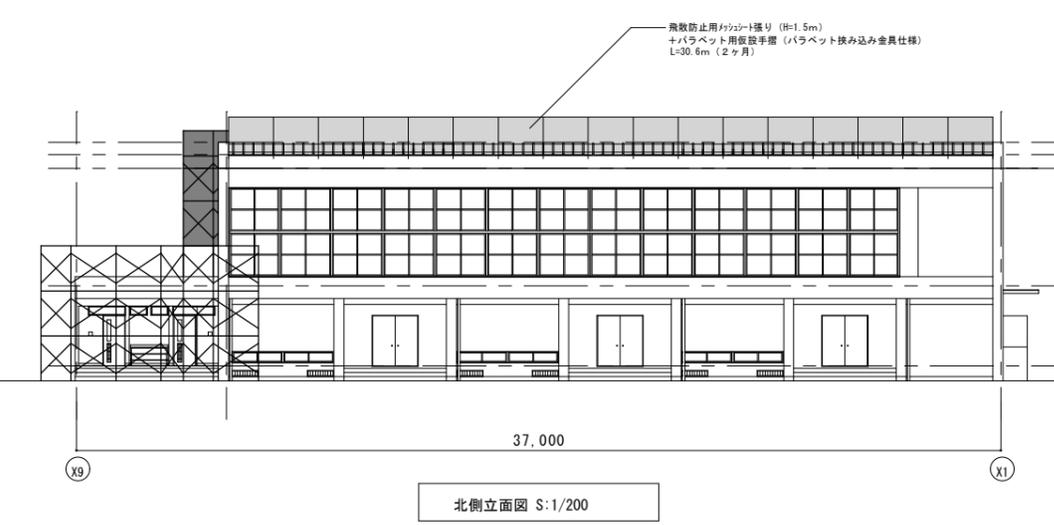
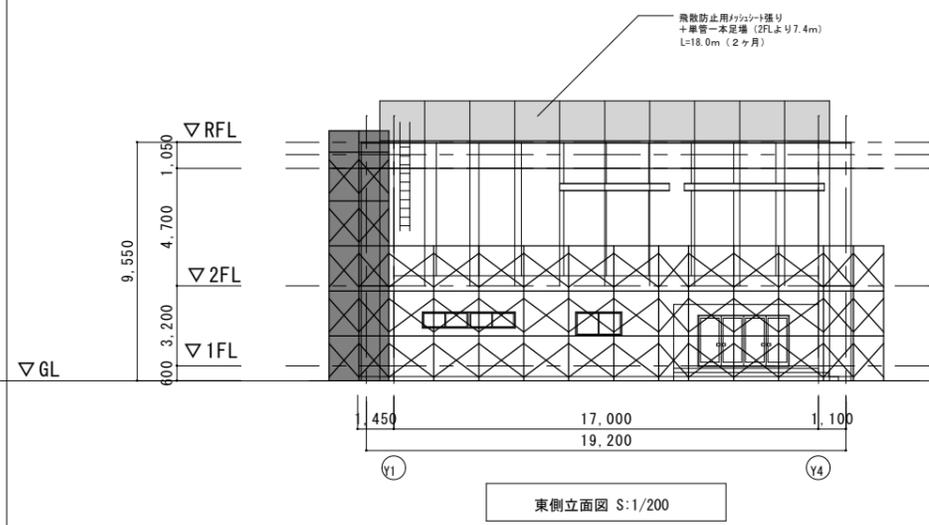
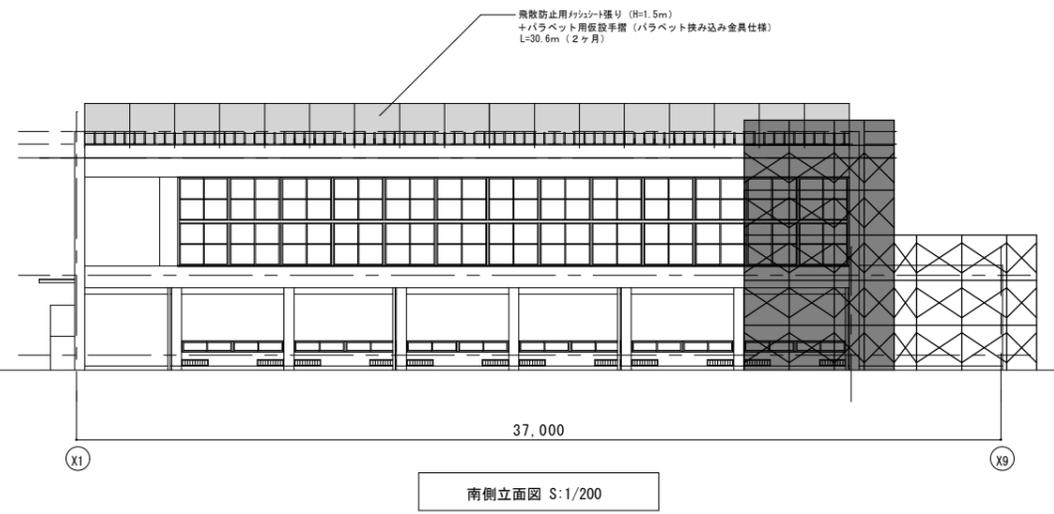
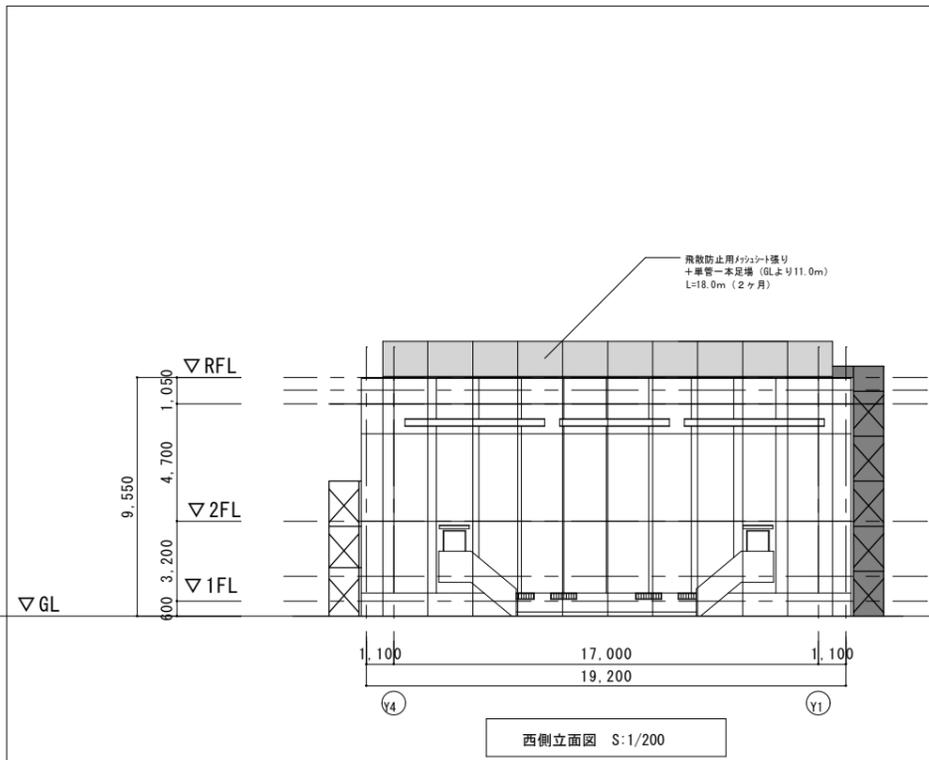
屋根伏図 S = 1 : 100

凡例	外部桝組本足場 W1200 (2ヶ月) 養生シート張り共 (防災I類)	内部桝組本足場 H=8.000程度 (6ヶ月)
	外部桝組本足場 W1200 (2ヶ月+2ヶ月=4ヶ月) 養生シート張り共 (防災I類)	※内部足場設置範囲には床養生する。 (ビニルシートの上、合板厚12mm)

特記仕様


株式会社 木下建築設計事務所
 一級建築士登録 第125477号
 細野 幹生
 611-0026 京都府宇治市開町37-10
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

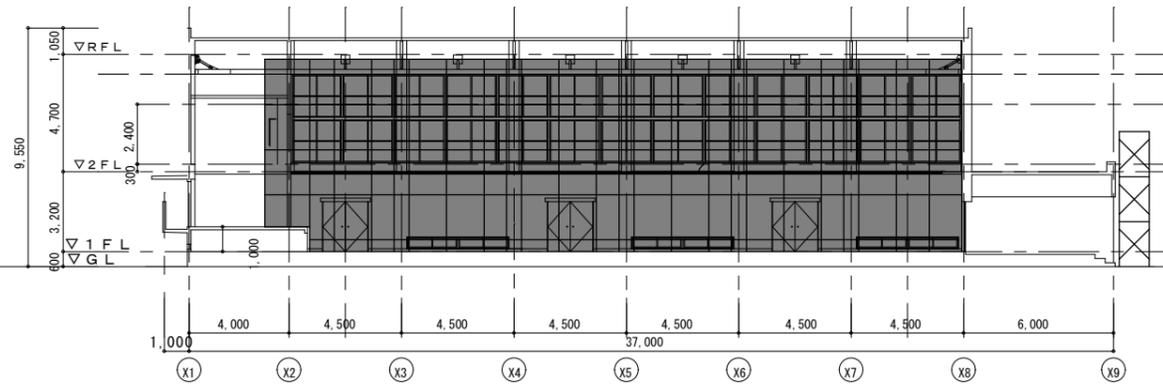
製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事	縮尺	1/100	図面番号	
訂正年月日		図面名称	仮設計画 屋根伏図 (参考図)			No. A-22 号図	
監修		設計					枚ノ内
製図							



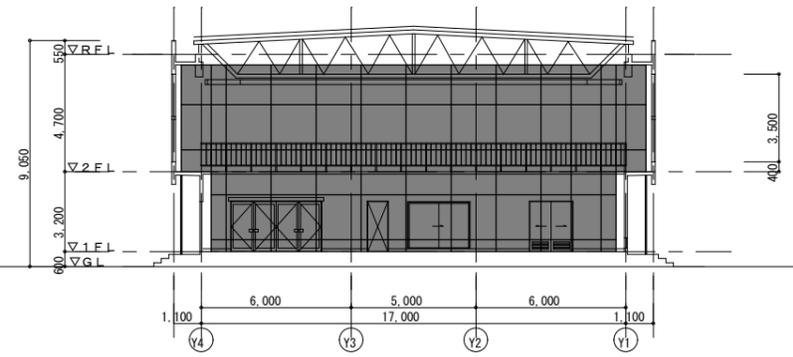
凡例	
	外部枠組本足場 W1200 (2ヶ月) 養生シート張り共 (防災 I 類)
	外部枠組本足場 W1200 (2ヶ月 + 2ヶ月 = 4ヶ月) 養生シート張り共 (防災 I 類)
製図年月日	2025.4
訂正年月日	
監修	設計
製図	
工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名称	仮設計画 立面図 (参考図)
縮尺	1/200
図面番号	No. A-23 号図
	枚ノ内

特記仕様	

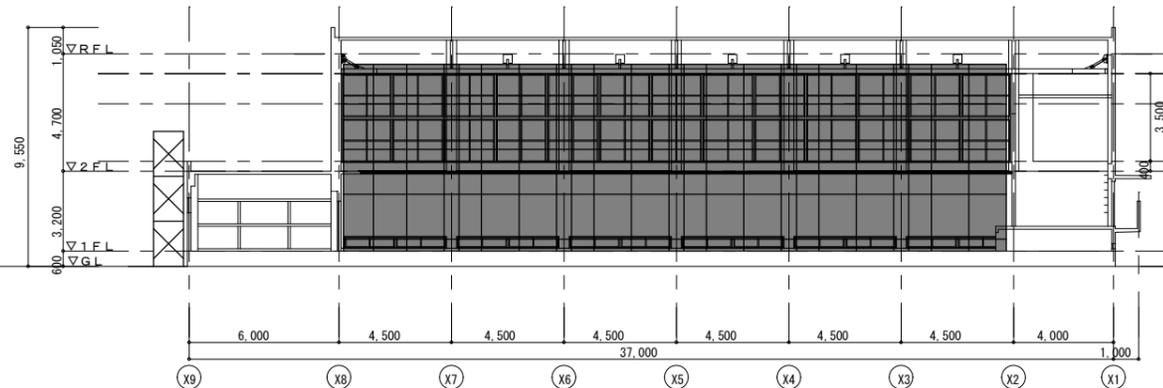

株式会社 木下建築設計事務所
 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生



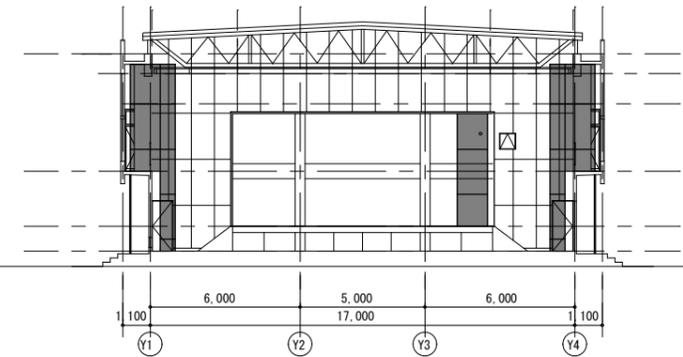
北面展開図 S : 1/200



東面展開図 S 1/200



南面展開図 S : 1/200



西面展開図 S : 1/200

凡例  外部枠組本足場 W1200(2ヶ月) 養生シート張り共(防災I類)					
 内部棚足場 H=8.000程度(2ヶ月+4ヶ月=6ヶ月) ※内部足場設置範囲には床養生する。(ビニルシートの上、合板厚12mm)					
製図年月日	2025.4	工事名称	御蔵山小学校体育館空調設置ほか改修工事		
訂正年月日		図面名称	仮設計画 断面図(参考図)		
監修	設計	製図	縮尺	1/200	図面番号
					No. A-24 号図
					枚ノ内

特記仕様	


株式会社 木下建築設計事務所
 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号
 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生